

## STEP 4-1 事業報告

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

- 1 事業所けんこうレポート
- 2 事業所コラボ活動
- 3 健康経営支援活動
- 4 事業主の会議体への参加
- 5 禁煙活動（1）遠隔禁煙外来
- 6 禁煙活動（2）ノンスモ
- 8 共同システム

#### 加入者への意識づけ

- 1 健康ポータル（pep up）の利用促進
- 2 健診結果の自宅送付（けんこう宅配便）
- 3 健康作りインセンティブ制度
- 4 健保の情報提供
- 5 機関誌発行（けんぽニュース）
- 6 前期高齢者の健康作り支援（健康かわら版）
- 7 退職に伴うセミナー
- 8 柔整適正化活動
- 9 不適切な受診者へ照会案内送付

#### 個別の事業

- 1 特定健診（被保険者）
- 2 特定健診（被扶養者）
- 3 家族の未健診者フォロー（被扶養者）
- 4 特定保健指導（被保険者）
- 5 特定保健指導（被扶養者）
- 6 医療費削減プロジェクト\_前期高齢者対策
- 7 健診時同時初回面談の推進（特定保健指導）
- 9 保健指導（糖尿病重症化防止活動\_診療所）
- 10 生活習慣病健診
- 12 ドック健診
- 13 がん検診（職場）
- 14 33歳人間ドックの無料化
- 18 がん精検受診率
- 19 歯科健診の促進
- 20 健康作り支援（スポーツジム契約）

21	オンラインジム
22	シニア体力測定
23	電話相談（健康相談&メンタル相談）
25	育児支援
26	講演会やセミナー開催
27	ジェネリックの利用促進
28	安心して治療に専念できる環境づくり（付加給付の充実）
29	利用者の満足度向上（3事業）
30	データヘルス計画推進システムの構築
31	福利厚生（直営保養所・外部リゾート施設契約）
32	健康相談（クリンタル）
33	■ポリファーマシー対策
34	重症化予防（入院・再発の未然防止）
36	若年層の健康増進活動
38	データの有効活用
39	■セルフメディケーションの推進

## 【保健事業の基盤】 職場環境の整備

1 事業名	事業所けんこうレポート								
健康課題との関連	健康経営の支援								
分類									
注1)事業分類	計画	1-イ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	1-イ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	イ,ケ,シ	実施方法	計画	事業所担当者へ送付しレポートからの健康課題を理解してもらう	予算額	1,000千円		
	実績	イ,ケ,シ		実績	事業所担当者へ送付しレポートからの健康課題を理解してもらう				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ	実施体制	計画	各事業所の保健事業担当者が窓口だが、健康課題を解決できるステークホルダーに共有（活用）してもらう体制作りが必要	決算額	662千円		
	実績	ア,イ		実績	各事業所の保健事業担当者が窓口だが、健康課題を解決できるステークホルダーに共有（活用）してもらう体制作りが必要				
実施計画 (令和4年度)	<p>【目的】 事業所ごとの健康課題を理解してもらう</p> <p>【概要】 事業所の健康管理課や総務&amp;人事（保健事業担当者）に健診結果や医療費分析が見える化した事業所レポートを用いて現状把握や今後の課題を示し将来的には健康経営に導く（活用実績あり）。令和1年から健康経営を推進し、レポートを用いて課題解決の方策へ繋げる。</p>								
振り返り	<p><b>実施状況・時期</b> 前年と同じ指標を用いて経年比較できるレポートを提供した。担当者へはメール配信後、必要な場合はWebで説明の機会を設けた。健康経営実施事業所には理事長より経営者に直接配信をお願いした。</p> <p><b>成功・推進要因</b> 前年指標化したフォーマットを用いることで比較できるようにした。健康経営を推進する上でレポートは有効なツールとなった。理事長より直接配信することで担当者が活用しやすくなった。</p> <p><b>課題及び阻害要因</b> 産業保健の強化が必要だがまだ進んでいない企業も多い。</p>								
評価	4. 80%以上								
事業目標									

事業所にデータによる健康課題を説明し、具体的な施策に取り組んでもらう

**アウトプット指標**

課題への取り組み（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：25件/26件 【達成度】 104.0%）活用している事業所をカウントする。健康経営の参加企業をカウントした。[-]

**アウトカム指標**

優良認定企業所属者割合（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：90%/90% 【達成度】 100.0%）優良認定を受けた企業に属する人が健保全体の何パーセントか？ BP：90%、T H：75%[-]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

2事業名	<b>事業所コラボ活動</b>								
健康課題との関連	健康経営の支援								
分類									
注1)事業分類	計画	1-ウ,1-エ	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	1-ウ,1-エ		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 その他							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 その他							
注2)プロセス分類	計画	ケ,シ	実施方法	計画	①日産は診療所が母体企業と連携し年度計画を持って実施する ②関連企業はコラボ企画書の計画・立案をサポートし効果検証までを必須とする			予算額	9,000千円
	実績	ケ,シ		実績	①日産は診療所が母体企業と連携し年度計画を持って実施する ②関連企業はコラボ企画書の計画・立案をサポートし効果検証までを必須とする				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ,ウ,コ	実施体制	計画	①診療所と主管部署と活動内容について話し合い活動を計画 ②関連企業は健保事業部よりコラボ企画書の提出を促し費用補助を行う。			決算額	4,907千円
	実績	ア,イ,ウ,コ		実績	①診療所と主管部署と活動内容について話し合い活動を計画 ②関連企業は健保事業部よりコラボ企画書の提出を促し費用補助を行う。				

実施計画 (令和4年度)	<p><b>【目的】</b> 事業所と協働で健康づくり活動を行うことで、より効果の高い保健事業を行う</p> <p><b>【概要】</b> ①毎月診療所と事業所主幹部等との話し合いの場を設け活動の計画や評価を行う。 ②各事業所の健康づくり担当者に企画のサポートを行い効果的なイベント策定を狙う</p>
振り返り	<p><b>実施状況・時期</b></p> <p>①禁煙・メタボ・シニア体力維持向上・ポータルサイト普及活動は、コロナ感染症防止や在宅勤務者対応を考慮しつつ、できる範囲での活動を行った。特に、オンラインセミナーや動画配信などを導入し、非接触型のイベントを導入し多様な環境下での活動を可能にした。 ②16社実施（20事業所）徐々に対面でのセミナーやイベントが再開し実施数が増加した。</p> <p><b>成功・推進要因</b></p> <p>①オンラインセミナーや対面であっても人数を制限し回数を増やすなど、活動方法の工夫を行ったため。 ②コロナ禍で実施できるアイテムを集め全社展開を行った。</p> <p><b>課題及び阻害要因</b></p> <p>①一部参加者へ偏りがち。効果測定の方法 ②未経験の担当者へのサポート強化、アウトカムの測定、新企画の導入 ※コロナ禍で対面活動が弱まり、またテレワークにより集客できないことが活動縮小の原因となった。</p>

評価	4. 80%以上
----	----------

**事業目標**

<p><b>【目標】</b> ①各診療所全体で97項目（1047件） 健康活動の実施 ②コラボ活動事業所数（予算内計画実施率）</p>
---

<p><b>アウトプット指標</b> 日産診療所の健康イベント計画順守率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：1,047回/1,066回 【達成度】 101.8%） ①目標値は計画回数 [-] コラボ参画事業所数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：12件/20件 【達成度】 166.7%） ②コラボ参画事業所数（予算内計画実施率）：計画事業所数[-]</p>
---

<p><b>アウトカム指標</b> - (アウトカムは設定されていません)</p>
---

外部委託先	計画	外部委託しない
	実績	委託の有無 外部委託しない

**3 事業名 健康経営支援活動**

健康課題との関連	健康経営の支援
----------	---------

**分類**

注1)事業分類	計画	1-ウ 実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存	
	実績		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業					
共同事業	共同事業ではない								

事業の内容				
対象者	計画	対象事業所 一部の事業所 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 その他		
	実績	対象事業所 一部の事業所 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 その他		
注2)プロセス分類	計画	実施方法	計画	健康経営について意識確認し、調査票の作成をサポートする専門業者を健保予算で担う 予算額 9,000千円
	実績		実績	
注3)ストラクチャー分類	計画	実施体制	計画	事業所のステークホルダーが健康経営の必要性を認識し、活動はトップダウンで実施することが必須 決算額 7,601千円
	実績		実績	
実施計画 (令和4年度)	<p>【目的】健康経営という概念を理解して会社が従業員の健康をサポートする体制を整える</p> <p>【概要】企業に健康経営宣言を促すために健保が専門業者を派遣して調査票記載のサポートを行う。</p>			
振り返り	<p><b>実施状況・時期</b> 健保事業として、年度計画をたて申請までのサポートを行った。FY22より申請費用が有料となり申請しない事業所が2社あった。新規事業所は3事業所申請26社（大規模20社、中小6社） 申請企業全社が優良認定を受けた。 うち、W500 9社。</p>			
	<p><b>成功・推進要因</b> 前年の振り返り意見交換会をWebにて行い、課題の共有や情報公開の共有により成績を上げた事業所が多かった。また担当者も定着していたため、申請までのプロセスなど安定していたのが要因と考える。</p>			
	<p><b>課題及び阻害要因</b> 2社は有料化で申請を行わなかった。来年は申請費用は予算化すると言っている。未申請の事業所はグループの求心力が弱いのが課題である。</p>			
評価	4. 80%以上			
事業目標				
【目標】健康経営申請書提出企業数 BP:25事業所 TH:20事業所				
<b>アウトプット指標</b>				
健康経営申請書の提出企業数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：25社/26社 【達成度】 104.0%）健康経営申請書提出企業数 BP:25事業所 TH:20事業所[-]				
<b>アウトカム指標</b>				
優良認定企業所属者割合（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：90%/90% 【達成度】 100.0%）優良認定を受けた企業に属する人が健保全体の何パーセントか？ BP：90%、TH：75%[-]				
外部委託先	計画	外部委託しない		
	実績	委託の有無	外部委託しない	

4 事業名	事業主の会議体への参加								
健康課題との関連	効果的な保健事業								
分類									
注1)事業分類	計画	1-ア	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	(予算措置なし)	新規・既存区分	既存
	実績	1-ア		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～65 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～65 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	ケ,シ	実施方法	計画	①健康経営推進会議 ②健康経営企画会議 ③統括産業医と日産健康管理部定例会議 ④産業医会議（日産健康管理部・健保事務局） ⑤随時会議 ⑥関連会社人事役員会議 ⑦事業所担当者 情報交換会	予算額	0千円		
	実績	ケ,シ		実績	①健康経営推進会議 ②健康経営企画会議 ③統括産業医と日産健康管理部定例会議 ④産業医会議（日産健康管理部・健保事務局） ⑤随時会議 ⑥関連会社人事役員会議 ⑦事業所担当者 情報交換会				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ,ウ	実施体制	計画	定例会ではメンバー登録、不定期会には情報を入手する必要がある	決算額	0千円		
	実績	ア,イ,ウ		実績	定例会ではメンバー登録、不定期会には情報を入手する必要がある				

<p>実施計画 (令和4年度)</p>	<p>①健康経営推進会議 ②健康経営企画会議 ③統括産業医と日産健康管理部定例会議 ④産業医会議（日産健康管理部・健保事務局） ⑤随時会議 ⑥関連会社人事役員会議 ⑦事業所担当者 情報交換会</p> <p>①～④ 1回/月 ⑤随時 目的共有・報告の場を設け健康経営に向けた活動を円滑に行えるようにする。</p>
<p>振り返り</p>	<p><b>実施状況・時期</b> ①～④、⑥定例参加 ⑦健康経営情報交換会 FY22年度内2回実施（4月&amp;5月）</p> <p><b>成功・推進要因</b> ①～④、⑥事前に議題の提案をし発表時間をもらって健保事業の理解（協力）を求めることができた。</p> <p><b>課題及び阻害要因</b> ⑥健保主体で行っているものでないため、関係会社との連絡会は健保主体で行う定例会などの体制樹立が望ましい。</p>
<p>評価</p>	<p>4. 80%以上</p>
<p><b>事業目標</b></p>	
<p>組合員の健康づくりを協働して行うための協力を求めたい。定期会議には参加し、事業への理解を深めたい。</p>	
<p><b>アウトプット指標</b></p>	
<p>定例会への参加（【平成29年度末の実績値】12回【計画値/実績値】令和4年度：12回/12回 【達成度】100.0%）①～④は定例会に健保職員が毎月参加する。[-] 会議体への参加（【平成29年度末の実績値】1回【計画値/実績値】令和4年度：1回/1回 【達成度】100.0%）⑥は課題を提出し、理解または協力を仰ぐ。[-] 事業所担当者との情報交換会（【平成29年度末の実績値】1回【計画値/実績値】令和4年度：2回/2回 【達成度】100.0%）⑦は事業所安全管理室や健康管理室の保健師などで事業所は違うが共通の課題を共有し情報交換する[-]</p>	
<p><b>アウトカム指標</b></p>	
<p>生活習慣病医療費の増加率（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和4年度：84,200円/79,213円 【達成度】106.3%）企業が健康課題に取り組むことで生活習慣病医療費の削減効果を期待する。 医療費は増加し続けるものとして（前年+3%）、前年+2%を目標とする。 月報報告 40歳以上、生活習慣病医療費 BP：84200円、TH：86600円[月報報告 40歳以上、生活習慣病医療費 BP：84200円、TH：86600円、結果：79213円]</p>	

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

**5 事業名 禁煙活動（1）遠隔禁煙外来**

健康課題との関連 健康経営の支援

**分類**

注1)事業分類	計画	5-オ	実施主体	計画	2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	5-オ		実績	2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用				

共同事業 共同事業ではない

**事業の内容**

対象者 計画 **対象事業所** 全て **性別** 男女 **年齢** 20～（上限なし） **対象者分類** 基準該当者

実績 **対象事業所** 全て **性別** 男女 **年齢** 20～（上限なし） **対象者分類** 基準該当者

注2)プロセス分類	計画	ケ, シ	実施方法	計画	本人負担額は5,000円。専用アプリより申込を行い自分の好きな時間にオンライン診療（4回）を受ける。薬については、本人指定の送付先に発送。最終診療後10か月（4回）フォロー連絡あり。	予算額	2,000千円
	実績	ケ, シ		実績	本人負担額は5,000円。専用アプリより申込を行い自分の好きな時間にオンライン診療（4回）を受ける。薬については、本人指定の送付先に発送。最終診療後10か月（4回）フォロー連絡あり。		

注3)ストラクチャー分類	計画	ア, イ, ウ	実施体制	計画	プログラムは外注しているが費用補助は健保。周知等は診療所や事業所に協力いただき実施している。	決算額	1,012 千円
	実績	ア, イ, ウ		実績	プログラムは外注しているが費用補助は健保。周知等は診療所や事業所に協力いただき実施している。		

実施計画 (令和4年度) **【目的】** 喫煙率を削減し健康へのリスクを低減する活動を行う **【概要】** 目標設定し活動を進める。また事業所単位でも目標設定し競争意識を持たせる（関連／本人）

振り返り **実施状況・時期** 各地区診療所や事業所でPRを行っていただいている。また、外注している業者よりチラシの発送や動画作成等協力いただきPRを行った。  
**成功・推進要因** 各所のステークホルダーの協力を得ながら活動している。  
**課題及び阻害要因** 禁煙外来の脱落者や再喫煙者のフォローなど細かくアプローチする必要がある。

評価 5. 100%

**事業目標**

喫煙率 ①日産本人 BP:26.4% TH:27.4%  
 ②関連本人 BP:31.2% TH:32.2%  
 ③家族 BP: 5.2% TH: 6.2%

**アウトプット指標** 喫煙率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：26.4%/25.8% 【達成度】 102.3%）①日産本人 BP:26.4% TH:27.4%[-]  
 喫煙率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：31.2%/31.0% 【達成度】 100.6%）②関連本人 BP:31.2% TH:32.2%[-]  
 喫煙率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：5.2%/5.3% 【達成度】 98.1%）③家族 BP: 5.2% TH: 6.2%[-]

**アウトカム指標** -  
 (アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	外部委託しない
	実績の有無	外部委託しない

6 事業名 **禁煙活動（2）ノンスモ**

健康課題との関連 健康経営の支援

分類

注1)事業分類	計画	5-才	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	5-才		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 20～（上限なし） 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 20～（上限なし） 対象者分類 被保険者							

注2)プロセス分類	計画	エ,ケ,シ	実施方法	計画	本人負担額は0円。QRコードから簡単にアクセスでき、申し込みをすると禁煙ガムが自宅に届き、チャットによる禁煙サポートが6か月間届く。	予算額	6,000千円
	実績	エ,ケ,シ		実績	本人負担額は0円。QRコードから簡単にアクセスでき、申し込みをすると禁煙ガムが自宅に届き、チャットによる禁煙サポートが6か月間届く。		

注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ	実施体制	計画	健保の会議体で紹介し、事業所の協力や活動の周知を行う。また利用者へはICT（PepUp）で申し込み期間など告知する。	決算額	4,186 千円
	実績	ア,イ		実績	健保の会議体で紹介し、事業所の協力や活動の周知を行う。また利用者へはICT（PepUp）で申し込み期間など告知する。		

実施計画 (令和4年度)	【目的】喫煙率を下げ健康へのリスクを低減する活動を行う 【概要】計画的に禁煙日を設け、禁煙を体験することで成功体験を重ね完全禁煙へのステップとして利用してもらう。
振り返り	<b>実施状況・時期</b> 長期休暇にかかるように計画し、年度内に2回実施することができた。事業所や診療所に協力いただきPRをより強化した。
	<b>成功・推進要因</b> 禁煙へのハードルを下げ、成功体験を積み重ねることで禁煙または減煙できたという意見が多くみられた。
	<b>課題及び阻害要因</b> オンライン禁煙プログラムへ登録しやすいスキームを構築する。
評価	5. 100%

事業目標	禁煙活動実施率:年2回実施
------	---------------

<b>アウトプット指標</b>	禁煙活動実施率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：100%/100% 【達成度】 100.0%）年2回実施[-] 禁煙成功率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：20%/21.8% 【達成度】 109.0%）プログラム終了一か月後にヒヤリングし、それまで禁煙が続いていた割合[36/165（人）] 減煙成功率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：50%/60% 【達成度】 120.0%）プログラム参加後、減煙ができていないか一か月後にヒヤリングして得た割合[99/165（人）] アンケート回収率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：30%/48.4% 【達成度】 161.3%）プログラム終了後1か月でのアンケート回収率[165/341（人）]
<b>アウトカム指標</b>	喫煙率（【平成29年度末の実績値】 33.4%【計画値/実績値】 令和4年度：29.1%/28.7% 【達成度】 101.4%）被保険者 BP:29.1%(前年実績)[9862/34319（人）]

外部委託先	計画	外部委託しない
	実績	委託の有無 外部委託しない

8 事業名	共同システム								
健康課題との関連	健康経営の支援								
分類									
注1)事業分類	計画	1-工	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	1-工		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所	全て	性別	男女	年齢	18～75	対象者分類	基準該当者
	実績	対象事業所	全て	性別	男女	年齢	18～75	対象者分類	基準該当者
注2)プロセス分類	計画	イ,カ,ク,シ	実施方法	計画	健診データは、随時取り込みを行い、月次締めで抽出する。国への報告は年次処理。			予算額	2,600千円

	実績	イ,カ,ク,シ		実績	健診データは、随時取り込みを行い、月次締めで抽出する。国への報告は年次処理		
注3)ストラクチャー分類	計画	エ	実施体制	計画	診療所・関連企業・家族の健診データを取り込むため、分担して入力している	決算額	2,414 千円
	実績	エ		実績	診療所・関連企業・家族の健診データを取り込むため、分担して入力している		
実施計画 (令和4年度)	システムの導入により健診結果の階層化および特定保健指導の判定が容易になるうえレセプト管理システムとの連携で他健保情報も入手できる						
振り返り	<b>実施状況・時期</b>		特定健診・特定保健指導の国報告には欠かせないシステム				
	<b>成功・推進要因</b>		健保から健診結果のお知らせやけんこうレポートを作成する際に必要なシステム				
	<b>課題及び阻害要因</b>		データ登録、抽出ともに課題が多い 利用時間の制限や抽出結果が翌日など改善してもらいたい点が多い。				
評価	3. 60%以上						
<b>事業目標</b>							
【目標】 健診後に結果のお知らせ（PepUp閲覧、けんこう宅配便）発行までをスピーディーに行うために、健診データの取り込みと抽出を計画通り行い保健指導までつなげていく。							
<b>アウトプット指標</b>		健診結果の抽出（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：10回/10回 【達成度】 100.0%）データ取り込みと掃き出しは計画通り行う。[-]					
<b>アウトカム指標</b>		- (アウトカムは設定されていません)					
外部委託先	計画	外部委託しない					
	実績	委託の有無	外部委託しない				

## 【保健事業の基盤】 加入者への意識づけ

1 事業名	健康ポータル (pep up)の利用促進							
健康課題との関連	効果的な保健事業							
分類								
注1)事業分類	計画 2,5-ア,5-イ,5-ウ,5-エ,5-オ,5-キ,5-ク	実施主体	計画 3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存	
	実績 2,5-ア,5-イ,5-ウ,5-エ,5-オ,5-キ,5-ク		実績 3. 健保組合と事業主との共同事業					
共同事業	共同事業ではない							
事業の内容								
対象者	計画 対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～(上限なし) 対象者分類 被保険者,被扶養者,任意継続者							
	実績 対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～(上限なし) 対象者分類 被保険者,被扶養者,任意継続者							
注2)プロセス分類	計画 ア,エ,ケ,シ	実施方法	計画 Pep内でイベントを開催し活用率を図る。年間計画しているイベントへの参加率を測定する。	予算額	10,100千円			
	実績 ア,エ,ケ,シ		実績 Pep内でイベントを開催し活用率を図る。年間計画しているイベントへの参加率を測定する。					
注3)ストラクチャー分類	計画 ア	実施体制	計画 年間計画や告知を工夫し事業所への協力を促進する	決算額	11,115千円			
	実績 ア		実績 年間計画や告知を工夫し事業所への協力を促進する					
実施計画 (令和4年度)	<p>【目的】健康意識を高め、インセンティブを付与し、継続した健康活動へつなげる。</p> <p>【概要】ICTの活用により健保からの情報提供も容易に行える仕組みの基盤づくりとする。 母体企業は診療所、関連企業は事業所担当者の協力を促進する。</p>							
振り返り	<p><b>実施状況・時期</b> 利用率 日産本人：37.9%、関係本人：24.5%、家族：22.7%</p> <p><b>成功・推進要因</b> 日産および一部事業所は登録率を目標に掲げて活動を行った。 家族登録率向上のため情報提供を数回行った。</p> <p><b>課題及び阻害要因</b> 事業所により温度差が大きい 家族の登録率向上はハードルが高い 健康不発者への訴求が難しい</p>							
評価	4. 80%以上							
事業目標								

【目標】登録率：毎月事業所ごとの比較グラフを用いて事業所展開を行う。

活用率：イベント（年間5回）の参加率を測定する。日産本人 BP:34%、TH:24%・関係会社本人 BP:23%、TH:16%・家族 BP：21%、TH:14%

**アウトプット指標** 活用率（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】 令和4年度：34%/37.9% 【達成度】111.5%）日産本人 活用率 BP:34%、TH:24%[-]  
 活用率（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】 令和4年度：24%/24.5% 【達成度】102.1%）関係会社本人 活用率 BP:23%、TH:16%[-]  
 活用率（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】 令和4年度：21%/22.7% 【達成度】108.1%）家族 活用率 BP:21%、TH:14%[-]

**アウトカム指標** -  
 （アウトカムは設定されていません）

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

2事業名	<b>健診結果の自宅送付（けんこう宅配便）</b>								
健康課題との関連	健康経営の支援								
分類									
注1)事業分類	計画	2,4-ア,4-カ,5-イ,5-ウ,5-エ,5-オ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定健康診査事業	新規・既存区分	既存
	実績	2,4-ア,4-カ,5-イ,5-ウ,5-エ,5-オ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	ア,エ,オ	実施方法	計画	健診実施者へ3カ年の健診結果をグラフ化し、健康年齢表示などの情報提供を自宅へ送付。（PepUp登録者を除く）内製で作成している。	予算額	10,000千円		
	実績	ア,エ,オ		実績	健診実施者へ3カ年の健診結果をグラフ化し、健康年齢表示などの情報提供を自宅へ送付。（PepUp登録者を除く）内製で作成している。				
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	40歳以上、特定健診の結果をもとに共同システムから健診データを出力し、データ加工したうえで、配送は外注化している。	決算額	4,210千円		
	実績	ス		実績	40歳以上、特定健診の結果をもとに共同システムから健診データを出力し、データ加工したうえで、配送は外注化している。				
実施計画 (令和4年度)	<p>【目的】生活習慣改善への動機づけを図る。健康年齢と実年齢との差を表示することで、健康行動変容へつなげる。</p> <p>【概要】健診実施者へ3カ年の健診結果をグラフ化し、自宅へ送付。（PepUp登録者を除く）</p>								

振り返り	<b>実施状況・時期</b>	月次で健診データ登録分を抽出し、年次計画を持って実施できている。独自のリスク階層の表現から健康年齢の表現にシフトチェンジしたことで定量的なリスクの見える化が実現できた。
	<b>成功・推進要因</b>	発行は年次計画を持って進めている。 3カ年の経年比較が可能（健診機関の変更は経年経過がわからない） 健康年齢という指標を用いて生活習慣病リスクを表現している（定量的な表現）
	<b>課題及び阻害要因</b>	健診から発送までのタイムラグは要再検査への受診促進が遅れる原因となる。

評価	5. 100%
----	---------

**事業目標**

発行回数	2回/年
------	------

<b>アウトプット指標</b>	送付回数（【平成29年度末の実績値】13回【計画値/実績値】令和4年度：2回/2回 【達成度】100.0%）2回/年[-]
-----------------	---

<b>アウトカム指標</b>	健康年齢若さ率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】令和4年度：71.5%/66.3% 【達成度】92.7%）JMDCの健康年齢において、実年齢より健康年齢が若い人の割合を示す。 ① 全体 BP:70.9% TH:68.5% [-]
----------------	--

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

**3 事業名 健康作りインセンティブ制度**

健康課題との関連	効果的な保健事業
----------	----------

**分類**

注1)事業分類	計画	2,3-ア,3-イ,4-ア,5-イ,5-ウ,5-エ,5-オ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	2,3-ア,3-イ,4-ア,5-イ,5-ウ,5-エ,5-オ		実績	1. 健保組合				

共同事業	共同事業ではない
------	----------

**事業の内容**

対象者	計画	<b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 18～（上限なし） <b>対象者分類</b> 被保険者,被扶養者,任意継続者
	実績	<b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 18～（上限なし） <b>対象者分類</b> 被保険者,被扶養者,任意継続者

注2)プロセス分類	計画	ア,エ,シ	実施方法	計画	内製で作成している。 ①1年間医療費が0のもの②健康年齢改善③健診結果改善④非喫煙者⑤人間ドッグ、歯科検診受診⑥スポーツジム利用⑦保養所利用⑧Pepイベント参加⑨事業所単位健康づくり活動への付与	予算額	225,000千円
	実績	ア,エ,シ		実績	内製で作成している。 ①1年間医療費が0のもの②健康年齢改善③健診結果改善④非喫煙者⑤人間ドッグ、歯科検診受診⑥スポーツジム利用⑦保養所利用⑧Pepイベント参加⑨事業所単位健康づくり活動への付与		
注3)ストラクチャー分類	計画	ア	実施体制	計画	PepUp利用者は活動実績をインセンティブに変換できる。	決算額	319,024千円
	実績	ア		実績	PepUp利用者は活動実績をインセンティブに変換できる。		

実施計画 (令和4年度)	<p>【目的】生活習慣改善への意識向上</p> <p>【概要】PepUpを用いてインセンティブを付与する。 ①1年間医療費が0のもの②健康年齢改善③健診結果改善④非喫煙者⑤人間ドッグ、歯科検診受診⑥スポーツジム利用⑦保養所利用⑧Pepイベント参加⑨事業所単位健康づくり活動への付与</p>
-----------------	--

振り返り	<p><b>実施状況・時期</b> PepUpポイント付与時期を設定し、月ごと、年次など計画的に実施できた。</p> <p><b>成功・推進要因</b> 年次計画とプロセス管理により実施できた。</p> <p><b>課題及び阻害要因</b> インセンティブによる効果を期待するが、未登録者もいるため登録率及びイベント参加率の向上も注力が必要。登録のみで未活用者もいるため、未活用者へのアプローチが課題</p>
------	--

評価	4. 80%以上
----	----------

**事業目標**

【目標】 各担当がタイムリーに集計し、合算pointを付与する。①年間1回、②,③,④健診結果後、⑤受診後集計、⑥,⑦都度利用後、⑧,⑨活動実施後

**アウトプット指標** ポイント付与計画実施率（【平成29年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和4年度：100%/100% 【達成度】100.0%）◆毎月発行 12回/年◆[-]

**アウトカム指標**

健康年齢若さ率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：71.5%/66.3%	【達成度】92.7%	健康年齢若さ率：全体 BP:71.5%、TH:68.5%[-]
健康年齢若さ率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：71.5%/67.5%	【達成度】94.4%	健康年齢若さ率：日産本人 BP:71.5%、TH:68.5%[-]
健康年齢若さ率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：71.5%/64.9%	【達成度】90.8%	健康年齢若さ率：関係会社本人 BP:71.5%、TH:68.5%[-]
健康年齢若さ率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：71.5%/68.3%	【達成度】95.5%	健康年齢若さ率：家族 BP:71.5%、TH:68.5%[-]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

**4 事業名 健保の情報提供**

健康課題との関連 効果的な保健事業

分類									
注1)事業分類	計画	2,5-キ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	2,5-キ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	①メルマガ登録者数管理 （委員会として活動） ②社内イントラへの情報提供 ③ホームページの改修	予算額	5,100千円		
	実績	ス		実績	①メルマガ登録者数管理 （委員会として活動） ②社内イントラへの情報提供 ③ホームページの改修				
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	①委員会組織を持って運営する ②協力体制づくりを行う ③HPの外注化	決算額	101千円		
	実績	ス		実績	①委員会組織を持って運営する ②協力体制づくりを行う ③HPの外注化				
実施計画 (令和4年度)	<p>【目的】 タイムリーな情報提供を行いサービス向上と健保活動の認知を深める。</p> <p>【概要】 ①メルマガ ②社内イントラへの情報提供 ③HPの外注化</p>								
振り返り	<p><b>実施状況・時期</b> ①委員会組織により計画的な発信とアイデアをこらしたメルマガを提供した ②事業主メールを用いて情報提供をしている ③新HP制作中</p> <p><b>成功・推進要因</b> ①②体制づくりができており計画どおり実施できた。 ③委員会組織が主体となり、システム関係、日産調整など多くの方の協力を得て、新HP制作が進んでいる。</p> <p><b>課題及び阻害要因</b> ①②ともに発信後の効果検証が難しい。</p>								
評価	4. 80%以上								
事業目標									

【目的】タイムリーな情報提供を行いサービス向上と健保活動の認知を深める。

- 【概要】①メルマガ 14,000件  
 ②社内イントラへの情報提供  
 ③HPの外注化

**アウトプット指標**

メルマガ送付者数（【平成29年度末の実績値】14,000件【計画値/実績値】令和4年度：14,000件/13,017件【達成度】93.0%）①メルマガ送付者数[-]  
 ホームページ閲覧件数/月（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和4年度：20,000件/24,773件【達成度】123.9%）ホームページ閲覧件数 20000/月（FY21 239801件/年）[-]  
 ホームページの外注化計画実施率（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和4年度：100%/100%【達成度】100.0%）-[FY22で決裁と契約を実施。新HP立ち上げはFY23年度内]

**アウトカム指標**

-  
 （アウトカムは設定されていません）

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

5	事業名	<b>機関誌発行（けんぽニュース）</b>							
健康課題との関連	効果的な保健事業								
分類									
注1)事業分類	計画	2	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	2		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	2回／年、PDFで発行。事業所担当者ヘイントラ掲載のお願いを行う		予算額	1,000千円	
	実績	ス		実績	2回／年、PDFで発行。事業所担当者ヘイントラ掲載のお願いを行う				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア	実施体制	計画	事業主メールにて事業所担当者ヘイントラ掲載のお願いと周知を依頼する。加入者にはPepUp（ポータルサイト）にてお知らせをする。ホームページにも掲載		決算額	510千円	

実績	ア	実績	事業主メールにて事業所担当者へイントラ掲載のお願いと周知を依頼する。加入者にはPepUp（ポータルサイト）にてお知らせをする。ホームページにも掲載
----	---	----	---

実施計画 (令和4年度)	<p>【目的】 健保情報の周知や健診受診（家族健診・がん検診）、医療費適正化に繋げる。</p> <p>【概要】 健保サービス情報、健康づくり情報、事業紹介、予算決算などを掲載(16P)し、全てWebのみ提供。</p>
-----------------	--

振り返り	<b>実施状況・時期</b>	計画通り発行した 2回/年
	<b>成功・推進要因</b>	年間計画を持って実施できている 記事づくりは内製で行っている
	<b>課題及び阻害要因</b>	ホームページ、イントラ、事業所配布、メルマガなどで啓発を行うが情報の周知の徹底にはハードルが高い

評価	5. 100%
----	---------

### 事業目標

【目標】 2回/年発行
-------------

<b>アウトプット指標</b>	ホームページ閲覧件数/月（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：20,000件/24,773件 【達成度】 123.9%） ホームページ閲覧件数 20000/月 （FY21 239801件/年） [-]
<b>アウトカム指標</b>	- (アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	外部委託しない
	実績	委託の有無 外部委託しない

### 6 事業名 前期高齢者の健康作り支援（健康かわら版）

健康課題との関連	効果的な保健事業
----------	----------

### 分類

注1)事業分類	計画	2,5-キ,5-ク	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	2, 5-キ, 5-ク		実績	1. 健保組合				

共同事業	共同事業である
------	---------

### 事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て	性別 男女	年齢 60～74	対象者分類 基準該当者
	実績	対象事業所 全て	性別 男女	年齢 60～74	対象者分類 基準該当者

注2)プロセス分類	計画	実施方法	計画	4回/年 自宅送付 見やすく読みやすい記事づくりで情報提供し、けんぽ情報も織り込む	予算額	4,000千円
	実績		実績	4回/年 自宅送付 見やすく読みやすい記事づくりで情報提供し、けんぽ情報も織り込む		
注3)ストラクチャー分類	計画	実施体制	計画	社会保険に強い業者に業務委託し、けんこう記事を年間計画に基づいて発行し、自宅配布を行う。	決算額	3,333千円
	実績		実績	社会保険に強い業者に業務委託し、けんこう記事を年間計画に基づいて発行し、自宅配布を行う。		

実施計画 (令和4年度)	<p><b>【目的】</b> 健康作りの情報提供により生活習慣改善への取り組みに繋げる</p> <p><b>【概要】</b> ①健康作り情報や生活習慣改善の取り組みを4回/年を自宅へ送付 対象者65-74の前期高齢者（本人・家族）および、60-64の家族のいる世帯へ1冊 ②診療所・健診ホール・保養所でも読み物として設置</p>
振り返り	<p><b>実施状況・時期</b> 4回/年実施 健康に関するタイムリーな話題をわかりやすい紙面で情報提供する。 他健保との共同事業とする。</p> <p><b>成功・推進要因</b> 前期高齢者アンケート調査で「けんこうかわら版」への満足度が高いことがわかった。かわら版に関する単独調査でなかったため、直接的な集計結果ではないが、いつも読んでいますといった生の声が多く聞かれた。 コツコツと継続することがリテラシーの向上につながる</p> <p><b>課題及び阻害要因</b> かわら版に関する単独調査でなかったため直接的なアンケートの実施も行いたい。</p>
評価	5. 100%

事業目標	4回/年発行
<b>アウトプット指標</b>	計画実施率（【平成29年度末の実績値】75%【計画値/実績値】令和4年度：75%/100% 【達成度】133.3%）計画実施率 年間4回発行[-]
<b>アウトカム指標</b>	- (アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	外部委託しない
	実績	委託の有無 外部委託しない

7事業名	退職に伴うセミナー
健康課題との関連	効果的な保健事業
分類	

注1)事業分類	計画	1-工,2,5-カ	実施主体	計画	2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用	予算科目	(予算措置なし)	新規・既存区分	既存
	実績	1-工,2,5-カ		実績	2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者	計画	対象事業所	母体企業	性別	男女	年齢	18～（上限なし）	対象者分類	定年退職予定者
	実績	対象事業所	母体企業	性別	男女	年齢	18～（上限なし）	対象者分類	定年退職予定者

注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	退職後も健康に留意するよう情報提供を行う	予算額	0千円
	実績	ス		実績	退職後も健康に留意するよう情報提供を行う		

注3)ストラクチャー分類	計画	ア	実施体制	計画	退職セミナーで健保案内を配布する。	決算額	0千円
	実績	ア		実績	退職セミナーで健保案内を配布する。		

実施計画 (令和4年度) 【目的】 退職後も健康に留意するよう情報提供を行う  
 【概要】 退職セミナーで事業主が主体的に作成し、健保で内容確認した健保案内を配布してもらう

振り返り	実施状況・時期	退職時セミナーで健保関係の案内を配布する 1回／退職時
	成功・推進要因	配布の体制作りができています
	課題及び阻害要因	母体企業での活動のため、関係会社へ拡大する必要があります。

評価 5. 100%

事業目標

1回／退職時

アウトプット指標	けんぽ案内送付（【平成29年度末の実績値】1回【計画値/実績値】令和4年度：1回/1回 【達成度】100.0%）全事業所で退職時セミナーに健保案内が配布できるよう、母体企業の人事と調整している[-]
アウトカム指標	- (アウトカムは設定されていません)

計画 外部委託しない

外部委託先

実績	委託の有無	外部委託しない
----	-------	---------

8 事業名 **柔整適正化活動**

健康課題との関連 医療費適正化

分類

注1)事業分類	計画	1-ア	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	1-ア		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							

注2)プロセス分類	計画	イ,ス	実施方法	計画	受診状況の確認と適正受診の啓発活動	予算額	2,200千円
	実績	イ,ス		実績	受診状況の確認と適正受診の啓発活動		

注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	計画的な啓発活動を行うために、加入者一人当たりの療養費のマイルストーンを月次で設定し、報告会議にて進捗管理を行う。	決算額	2,059 千円
	実績	ス		実績	計画的な啓発活動を行うために、加入者一人当たりの療養費のマイルストーンを月次で設定し、報告会議にて進捗管理を行う。		

実施計画 (令和4年度) 計画的な啓発活動を行うために、加入者一人当たりの療養費のマイルストーンを月次で設定し、報告会議にて進捗管理を行う。

**実施状況・時期** 実績 加入者1人当たり 643円  
 初めて受療した方全員に正しい柔整のかかり方を周知するためのチラシをメール便にて送付。  
 受療内容の確認が必要な方については、上記のチラシを同封のうえ、施術部位や施術内容、負傷原因などの照会文書を送付。  
 慢性疾患など、保険適用にならないことが明らかな受療が認められた場合は、不支給処理を実施。年1回柔整版の医療費通知を送付し適正化を図る。

**成功・推進要因**  
 受療者へ正しい柔整のかかり方のチラシや柔整版医療費通知などを送付し適正化（適正受診）を図れた。また、不適正な受療が認められた場合は不支給処理も実施した。

**課題及び阻害要因** 部位転がし等による長期受療者への対応。  
 自費と健康保険適用の混在

評価 5. 100%

事業目標

医療費適正化活動

- ①柔整版医療費通知の送付 年1回
- ②月次報告：月報会議報告 年11回
- ③一人当たり医療費（柔整医療費） BP：706円以下、TH：731円以下

**アウトプット指標**

柔整医療費適正化活動（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：1回/1回 【達成度】 100.0%）年間版 1回/年[-]  
 月次報告（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：11回/11回 【達成度】 100.0%）11回/年[-]  
 柔整受療にかかる適正化活動①（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：100%/100% 【達成度】 100.0%）初回受診時に適正受診チラシを送付（月次で対象者を選定し送付する）活動実施率[-]  
 柔整受療にかかる適正化活動②（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：100%/100% 【達成度】 100.0%）疑義のある受療者や不適切と思われる受療の確認を行う。（月次で対象者を選定し送付する）活動実施率[-]

**アウトカム指標** 一人当たり医療費（柔整・あはき）（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：706円/643円 【達成度】 109.8%）BP：706円以下、TH：731円以下[-]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

9	事業名	<b>不適切な受診者へ照会案内送付</b>							
健康課題との関連		医療費適正化							
分類									
注1)事業分類	計画	4-ク,5-キ,5-ク	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	4-ク,5-キ,5-ク		実績	1. 健保組合				
共同事業		共同事業ではない							
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	イ,ク	実施方法	計画	改善活動後の加入者1人当たりに占める時間外受診日数の推移について月次報告する。	予算額	1,000千円		
	実績	イ,ク		実績	改善活動後の加入者1人当たりに占める時間外受診日数の推移について月次報告する。				
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	目標値を定め、月次報告会で進捗の報告を行う。	決算額	812千円		

	実績	ス		実績	目標値を定め、月次報告会で進捗の報告を行う。	
実施計画 (令和4年度)	計画的な啓発活動を行うために、加入者1人当たりにも占める時間外受診日数の推移をマイルストーンを引いて月次で設定し、報告会議にて進捗管理を行う。					
振り返り	<b>実施状況・時期</b>					
	加入者一人当たり年間日数 0.35日/年 1人当たりにも占める時間外受診日数について月次報告し、進捗管理ならびに状況把握を行う。対象期間で不要不急の可能性が高い時間外受診を3回以上している者を抽出し、9月末に啓発用シーラーハガキを送付。次年度には送付対象者のレセプトから効果検証を行い傾向を把握し、その後の活動に繋げていく。					
	<b>成功・推進要因</b> ベンチマークでは、当健保は他健保と比較して時間外受診の割合が低いことが判明。啓発用通知の効果が一定程度あったものと考えられる。					
	<b>課題及び阻害要因</b>					
	コロナ後の受診者の増加（レセプト件数の増加）にともない、時間外受診も増えている。次年度以降は加入者一人当たりの年間日数ではなく、レセプト件数での時間外受診の割合で管理していく予定。					
評価	3. 60%以上					
<b>事業目標</b>						
不適切な受診行動を抑制し医療費の適正化を図る BP:0.33日以下/年、TH:0.38日以下/年						
<b>アウトプット指標</b>						
不適切受診の改善活動（啓発用シーラーハガキの送付）（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：100%/100% 【達成度】 100.0%）送付対象者にかかる効果検証の実施 計画実施率 [-]						
月次報告（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：11回/11回 【達成度】 100.0%）11回/年[-]						
<b>アウトカム指標</b>						
加入者一人当たり時間外受診日数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：0.33日/0.35日 【達成度】 94.3%）加入者一人当たり時間外受診日数：BP:0.33日以下/年、TH:0.38日以下/年[-]						
外部委託先	計画	外部委託しない				
	実績	委託の有無	外部委託しない			

## 【個別の事業】

1 事業名	特定健診（被保険者）							
健康課題との関連	効果的な保健事業							
分類								
注1)事業分類	計画 3-ア,3-イ,4-オ	実施主体	計画 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用	予算科目	特定健康診査事業	新規・既存区分	既存(法定)	
	実績 3-ア,3-イ,4-オ		実績 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用					
共同事業	共同事業ではない							
事業の内容								
対象者	計画 対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者							
	実績 対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画 イ,エ,オ,カ,シ	実施方法	計画 ①日産従業員の健診フォロー対策 ・安全衛生委員会にて未受診者状況を報告 ・上司経由にて未健診者をフォローする ・受診票にも期日内に受診を促すメッセージを入れる ・誕生日健診のため、各月の対象者へリストを職場上司へ渡し健診受診者を把握してもらう など ②日産以外の従業員は本部が事業所担当者と連携しフォローしている。年度始めに健診日程を調査し受診率を追っている	予算額	200千円			
	実績 イ,エ,オ,カ,シ		実績 ①日産従業員の健診フォロー対策 ・安全衛生委員会にて未受診者状況を報告 ・上司経由にて未健診者をフォローする ・受診票にも期日内に受診を促すメッセージを入れる ・誕生日健診のため、各月の対象者へリストを職場上司へ渡し健診受診者を把握してもらう など ②日産以外の従業員は本部が事業所担当者と連携しフォローしている。年度始めに健診日程を調査し受診率を追っている					
注3)ストラクチャー分類	計画 ア,イ,オ,ク,コ	実施体制	計画 ①日産従業員は診療所で管理している ②日産以外は本部（事業部）で管理している	決算額	63千円			
	実績 ア,イ,オ,ク,コ		実績 ①日産従業員は診療所で管理している ②日産以外は本部（事業部）で管理している					

実施計画 (令和4年度)	<p>【目的】 特定健診による生活習慣病リスク判断</p> <p>【概要】 適用条件で分けた目標設定で管理する</p> <p>全体目標値：BP:82%、TH:77%</p> <p>①日産/本人 BP:95%、TH:93%</p> <p>②関連/本人 BP:95%、TH:92%</p> <p>③家族 BP:55%、TH:45%</p> <p>※予算計上は健診データのXMLデータ化費用のみ</p>		
振り返り	<p><b>実施状況・時期</b> 3月登録分まで（コロナ禍による影響大） ①94.2%、②92.3%</p> <p><b>成功・推進要因</b> ①診療所が事業所主管部署と連携し健診フォローを行う。 ②本部が月次で把握し健診フォローを行う</p> <p><b>課題及び阻害要因</b> ①在宅勤務等働き方の変化で診療所以外での受診が増えている。そのため、受診遅れや結果提出が遅れてしまう。</p>		
評価	4. 80%以上		
事業目標			
<p>2022年は特定健診受診率82%を目標とする。（BP:82%、TH:77%）被扶養者含めた目標値 健診により健診課題の抽出が可能となる</p>			
<p><b>アウトプット指標</b></p> <p>未受診者フォロー（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：1回/1回 【達成度】 100.0%）計画通り健診が行われているか毎月健診率を追う。[-]</p> <p>データ欠落フォロー（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：100%/100% 【達成度】 100.0%）健診データをXMLで取り込んだ後、データ欠落など発生した場合は対処する。計画実施率[-]</p> <p>健診実施率（日産本人）（【平成29年度末の実績値】 96%【計画値/実績値】 令和4年度：95%/94.2% 【達成度】 99.2%）①未健診フォローを行う。[-]</p> <p>健診実施率（関係会社本人）（【平成29年度末の実績値】 96%【計画値/実績値】 令和4年度：95%/92.3% 【達成度】 97.2%）②未健診フォローを行う。[-]</p> <p><b>アウトカム指標</b> - (アウトカムは設定されていません)</p>			
外部委託先	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="264 1114 291 1189">計 画</td> <td data-bbox="291 1114 2161 1189">外部委託しない</td> </tr> </table>	計 画	外部委託しない
	計 画	外部委託しない	
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="264 1189 291 1284">実 績</td> <td data-bbox="291 1189 2161 1284">委託の有 無 外部委託しない</td> </tr> </table>	実 績	委託の有 無 外部委託しない	
実 績	委託の有 無 外部委託しない		
2 事業名	特定健診（被扶養者）		
健康課題との関 連	効果的な保健事業		
分類			

注1)事業分類	計画	3-ア,3-イ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定健康診査事業	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	3-ア,3-イ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被扶養者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被扶養者							
注2)プロセス分類	計画	イ	実施方法	計画	年度のはじめに対象者家族へ案内書を自宅送付する。年度を通じて受診できる ①代行機関での施設健診 ②集団での施設健診 ③受診券での地域健診 ④パート先などでの健診 ⑤指定機関以外の健診	予算額	96,835千円		
	実績	イ		実績	年度のはじめに対象者家族へ案内書を自宅送付する。年度を通じて受診できる ①代行機関での施設健診 ②集団での施設健診 ③受診券での地域健診 ④パート先などでの健診 ⑤指定機関以外の健診				
注3)ストラクチャー分類	計画	オ,キ,ケ	実施体制	計画	①②代行業者へ委託 ③受診券発行 ④⑤健診結果入手	決算額	65,786千円		
	実績	オ,キ,ケ		実績	①②代行業者へ委託 ③受診券発行 ④⑤健診結果入手				
実施計画 (令和4年度)	<b>【目的】</b> 特定健診による生活習慣病リスク判断 <b>【概要】</b> 健診代行業者を用いて予約状況を把握し早めのフォローが可能になる BP:55%、TH:45%								
振り返り	<b>実施状況・時期</b>		被扶養者健診実施率：46.4%（見込） 受診券での特定健診利用者：593人（平均単価@8689円） 決算額はLSIの事務手数料を計上（6070万）						
	<b>成功・推進要因</b>		未受診フォローを充実させた。						
	<b>課題及び阻害要因</b>		高齢者は受診控えが継続している。						
評価	3. 60%以上								
事業目標									

2022年は特定健診受診率82%を目標とする。(BP:82%、TH:77%) 被保険者含めた目標値  
健診により健診課題の抽出が可能となる

**アウトプット指標**

未受診者フォロー (【平成29年度末の実績値】1回【計画値/実績値】令和4年度：4回/4回 【達成度】100.0%) 未健診者へ通知はがきを送付し健診を促す。または、パート先受診でのデータの提供を促す。[-]

データ欠落確認 (【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】令和4年度：100%/100% 【達成度】100.0%) 健診データをXMLで取り込んだ後、データ欠落など発生した場合は対処する。計画実施率[-]

健診実施率(家族) (【平成29年度末の実績値】45%【計画値/実績値】令和4年度：55%/46.4% 【達成度】84.4%) 年度目標値 家族 BP:55%、TH:45% [46.4%=10201/21968]

**アウトカム指標**

-  
(アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

3	事業名	<b>家族の未健診者フォロー (被扶養者)</b>							
健康課題との関連	効果的な保健事業								
分類									
注1)事業分類	計画	3-ア,3-イ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定健康診査事業	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	3-ア,3-イ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被扶養者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被扶養者							
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	①家族の家族の健診フォロー(本部) ②長期未受診者フォロー(メディカル):3年以上日産メディカルで受診していない人へ封書で受診勧奨を行う	予算額	6,000千円		
	実績	ス		実績	①家族の家族の健診フォロー(本部) ②長期未受診者フォロー(メディカル):3年以上日産メディカルで受診していない人へ封書で受診勧奨を行う				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア	実施体制	計画	①家族の健診フォロー(本部) ②長期未受診者フォロー(メディカル)	決算額	5,719千円		

	実績 ア		実績 ①家族の健診フォロー（本部） ②長期未受診者フォロー（メディカル）	
実施計画 (令和4年度)	<p>【目的】 家族の健診受診促進を行い健康状況を確認する</p> <p>【概要】 ①健診案内の自宅送付、パート先受診の強化 ②日産メディカル（直営健診センター）の未受診者フォロー</p>			
振り返り	<p><b>実施状況・時期</b> 5回。 ①5月、8月、10月、12月、1月発送：FY22未受診者10117人(最終4月現在) ②6~12月:日産メディカル未受診者フォロー 56人</p> <p><b>成功・推進要因</b> 受診控えがある中でのフォローとなった。</p> <p><b>課題及び阻害要因</b> コロナ禍による受診控え 毎年受けない（各年など）層の対策 通院と健診の違いを理解しない層への訴求</p>			
評価	5. 100%			

**事業目標**  
2022年は特定健診受診率82%を目標とする。（BP:82%、TH:77%）被保険者含めた目標値  
被扶養者の健診受診率はBP:55%、TH:40%  
健診により健康課題の抽出が可能となる

**アウトプット指標**  
未健診者案内送付（【平成29年度末の実績値】1回【計画値/実績値】令和4年度：5回/5回 【達成度】100.0%）-[5月：パート先受診フォロー 8月、10月、12月、1月：生活習慣病未受診者フォロー 11月：日産メディカル未受診者フォロー]  
家族の受診率（【平成29年度末の実績値】45%【計画値/実績値】令和4年度：55%/48.5% 【達成度】88.2%）年度目標値 家族 BP:55%、TH:40%[国報告までの見込み値]  
日産メディカル未受診者フォロー（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和4年度：52人/56人 【達成度】107.7%）年度目標値 メディカル（受診者/未受診通知者 %） BP:10%、TH:7%[-]

**アウトカム指標**  
家族の生活習慣病医療費（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和4年度：100%/96.9% 【達成度】96.9%）40歳以上の生活習慣病医療費（FY22\_年間）ベンチマークとの差異（%）  
家族はベンチマークより医療費が高いため目標値をベンチマーク100%とする。[40歳以上、生活習慣病医療費FY22ベンチマーク80,339円、日産健保82,843円]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

4事業名	特定保健指導（被保険者）
健康課題との関連	効果的な保健事業
分類	

注1)事業分類	計画	4-ア,4-オ,4-カ	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業		予算科目	特定保健指導事業	新規・既存区分	既存
	実績	4-ア,4-オ,4-カ		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業					
共同事業	共同事業ではない									
事業の内容										
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者								
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者								
注2)プロセス分類	計画	イ,オ,ク,ケ,コ,シ	実施方法	計画	①診療所の運営で行う ②関連会社は各事業所担当者に連絡し保健指導委託先と日程調整を行い実施する。ICTを促進しできるだけやりやすい環境を整える。委託先の状況を把握し対応する。			予算額	131,900千円	
	実績	イ,オ,ク,ケ,コ,シ		実績	①診療所の運営で行う ②関連会社は各事業所担当者に連絡し保健指導委託先と日程調整を行い実施する。ICTを促進しできるだけやりやすい環境を整える。委託先の状況を把握し対応する。					
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ,ウ,コ	実施体制	計画	①日産は各地区診療所と日産各地区安全健康管理課とで連携し進めている ②関連会社は、健保本部の事業部が主体で委託先の選定から実施、脱落フォローまで指導する			決算額	140,883千円	
	実績	ア,イ,ウ,コ		実績	①日産は各地区診療所と日産各地区安全健康管理課とで連携し進めている ②関連会社は、健保本部の事業部が主体で委託先の選定から実施、脱落フォローまで指導する					
実施計画 (令和4年度)	<p>【目的】 特定保健指導のみに切り替え実施率の向上を図る</p> <p>【概要】 保健指導実施率</p> <p>①日産/本人 初回面談実施率 BP:60% TH:50%</p> <p>②関連/本人 初回面談実施率 BP:50% TH:40%</p>									
振り返り	<p><b>実施状況・時期</b> ①68.5% (2023年4月時点) ②59.8%</p> <p><b>成功・推進要因</b> ①地区毎に計画実施しており、対象者にあったアプローチを実施する事ができるため。 ②事業所毎に担当を分けフォロー。実績の悪い事業所は担当へ連絡</p> <p><b>課題及び阻害要因</b> ①健診後から選定までの間に異動をしてしまった場合フォローが困難なときがある。 ②特保対象者の選定時に健診未実施者は特保対象から漏れている。</p>									
評価	4. 80%以上									
事業目標										

2022年は特定保健指導実施率55%を目標とする。(BP:55%、TH:45%) 被扶養者含めた目標値

①日産/本人 初回面談実施率 BP:60% TH:50%

②関連/本人 初回面談実施率 BP:50% TH:40%

**アウトプット指標**

受診勧奨計画実施率 (【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：100%/100% 【達成度】 100.0%) ①診療所が主体で行うが実施方法は診療所の運営に任せている。目標達成のための計画実施率

②健保主体で担当者と委託業者を調整する。目標達成のための計画実施率[-]

保健指導実施率 (【平成29年度末の実績値】 9% 【計画値/実績値】 令和4年度：60%/70% 【達成度】 116.7%) 毎月進捗管理している (初回面談実施率) ①日産/本人 初回面談実施率 BP:60% TH:50%[-]

保健指導実施率 (【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：50%/60% 【達成度】 120.0%) 毎月進捗管理している (初回面談実施率) ②関連/本人 初回面談実施率 BP:50% TH:40%[-]

**アウトカム指標**

40歳以上生活習慣病医療費 (【平成29年度末の実績値】 86,100円 【計画値/実績値】 令和4年度：84,164円/81,191円 【達成度】 103.6%) 毎月進捗管理している BP:84.2千円、TH:86.6千円[-]

健康度若さ率 (【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：71.5%/66.3% 【達成度】 92.7%) 毎月進捗管理している BP:71.5%、TH:68.5% [-]

保健指導対象者の減少 (【平成29年度末の実績値】 21% 【計画値/実績値】 令和4年度：19.4%/18% 【達成度】 107.7%) 毎月進捗管理している 2022は4月登録までで検証

①全体目標値：BP:19.4%、TH:24.4%[-]

保健指導対象者の減少 (【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：20.8%/17.9% 【達成度】 116.2%) 毎月進捗管理している 2022は4月登録までで検証

②日産本人：BP:20.8%、TH:25.8%[-]

保健指導対象者の減少 (【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：23.1%/22.6% 【達成度】 102.2%) 毎月進捗管理している 2022は4月登録までで検証

③関係会社本人：BP:23.1%、TH:28.1%[-]

外部委託先	計画	外部委託しない
	実績	委託の有無 外部委託しない

5 事業名	特定保健指導 (被扶養者)								
健康課題との関連	効果的な保健事業								
分類									
注1)事業分類	計画	4-ア,4-オ,4-カ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定保健指導事業	新規・既存区分	既存
	実績	4-ア, 4-オ, 4-カ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被扶養者							

	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被扶養者					
注2)プロセス分類	計画	オ	実施方法	計画	委託業者より案内を送付する	予算額	10,000千円
	実績	オ		実績	委託業者より案内を送付する		
注3)ストラクチャー分類	計画	ウ	実施体制	計画	40歳以上の家族の健診者に特保の指導を行う	決算額	4,225千円
	実績	ウ		実績	40歳以上の家族の健診者に特保の指導を行う		
実施計画 (令和4年度)	<p>【目的】 リスクに応じた保健指導を行うことで、限られた予算を有効に使い結果（重症化予防）につなげる</p> <p>【概要】 ①40歳～74歳/家族 国基準の支援対象者へ保健指導を案内し訪問とICTの選択可能とする                  ②薬局での保健指導を地域限定で導入する</p>						
振り返り	<p><b>実施状況・時期</b> ①初回面談実施率：26.1%（75/287）最終予測は30%以上                  ②初回面談実施率：31.5%（46/146）</p> <p><b>成功・推進要因</b> 未受諾者には手紙1回、電話3回のフォローを行う。</p> <p><b>課題及び阻害要因</b> 特保対象者は本人より少ないが、郵送案内では受諾率が伸びない。</p>						
評価	4. 80%以上						
事業目標							

2022年は特定保健指導実施率55%を目標とする。(BP:55%、TH:45%) 被保険者含めた目標値

**アウトプット指標**

店舗型面談利用率 (【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：10%/28.3% 【達成度】 283.0%) ②薬局での保健指導を地域限定で導入する[2022は4月末までで検証 13/46]  
 保健指導の実施率 (【平成29年度末の実績値】 3.6%【計画値/実績値】 令和4年度：18.1%/26.1% 【達成度】 144.2%) 毎月進捗管理している BP:18.1%(前年実績)[2022は4月末までで検証 75/287 (最終予測は30%) ]

**アウトカム指標**

保健指導対象者の減少率 (【平成29年度末の実績値】 7%【計画値/実績値】 令和4年度：7.3%/6.9% 【達成度】 105.8%) 毎月進捗管理している 2022は4月登録までで検証  
 ④家族+任継本人：BP:7.3%、TH:12.3%[-]  
 40歳以上の生活習慣病医療費 (【平成29年度末の実績値】 84,000円【計画値/実績値】 令和4年度：84,164円/79,213円 【達成度】 106.2%) 毎月進捗管理している BP:84.2千円、TH:86.6千円[-]  
 健康度若さ率 (【平成29年度末の実績値】 30%【計画値/実績値】 令和4年度：71.5%/66.3% 【達成度】 92.7%) 毎月進捗管理している BP:71.5%、TH:68.5%[-]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

6事業名	医療費削減プロジェクト_前期高齢者対策								
健康課題との関連	医療費適正化								
分類									
注1)事業分類	計画	4-ア,4-オ,4-カ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	4-ア, 4-オ, 4-カ		実績					
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 65～74 対象者分類 基準該当者							

	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 65～74 対象者分類 基準該当者					
注2)プロセス分類	計画	ア,オ	実施方法	計画	①重症化防止対策（中計：医療費推移等） ②個別のフィードバックシート「ときめき」発行 ③ときめきの発行を外注化する。	予算額	3,000千円
	実績	ア,オ		実績			
注3)ストラクチャー分類	計画	キ	実施体制	計画	①進捗管理 月次報告 ②FY22ときめき発行 ③ときめきの発行を外注化する。	決算額	2,285千円
	実績	キ		実績			
実施計画 (令和4年度)	【目的】重症化を予知・予防し、入院や高額療養者の抑制をする 【概要】①中計:前期高齢者医療費など適宜分析を行う ②FY22の健診結果をもとに「ときめき」を発行する。 ③ときめきの発行を外注化する。						
振り返り	【実施状況・時期】 ①②③は実施 ①月次で推移を管理、報告 全年代に拡大した。 ②および③は2022/11月～3か月ごとに発行 【成功・推進要因】 ①年間目標を持ち、月次管理している 【課題及び阻害要因】						
評価	4. 80%以上						
事業目標							
65歳以上（事業では60歳を含む）を対象に健診受診勧奨、重症化防止を強化するため重点課題として取り組む。							
【アウトプット指標】 前期高齢者対策活動計画実施率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：1件/1件 【達成度】 100.0%）ときめき発行 1件以上[2022/11月～3か月毎に発行]							
【アウトカム指標】 前期高齢者一人当たり総医療費（【平成29年度末の実績値】 426,560円【計画値/実績値】 令和4年度：336,869円/299,663円 【達成度】 112.4%）前期高齢者一人当たり医療費 BP:337千円、TH：343千円[-]							
外部委託先	計画	外部委託しない					
	実績	委託の有無		外部委託しない			

7 事業名	<b>健診時同時初回面談の推進（特定保健指導）</b>									
健康課題との関連	効果的な保健事業									
分類										
注1)事業分類	計画	1-工,4-ア	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定保健指導事業	新規・既存区分	既存	
	実績	1-工,4-ア		実績	1. 健保組合					
共同事業	共同事業ではない									
事業の内容										
対象者	計画	<b>対象事業所</b> 一部の事業所		<b>性別</b> 男女	<b>年齢</b> 40～74	<b>対象者分類</b> 被保険者,被扶養者				
	実績	<b>対象事業所</b> 一部の事業所		<b>性別</b> 男女	<b>年齢</b> 40～74	<b>対象者分類</b> 被保険者,被扶養者				
注2)プロセス分類	計画	コ	実施方法	健診センター（メディカル）での実施（家族）				予算額	2,400千円	
	実績	コ		健診センター（メディカル）での実施（家族）						
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ,キ	実施体制	健診日当日の健診結果から特保対象を判断し、健診日当日初回面談を実施する。健診当日に行うことで実施率UPを図る				決算額	665千円	
	実績	ア,イ,キ		健診日当日の健診結果から特保対象を判断し、健診日当日初回面談を実施する。健診当日に行うことで実施率UPを図る						
実施計画 (令和4年度)	<b>【目的】</b> 保健指導内容の改正を受けて検診日当日の初回面談を行うことで実施率の向上を狙う <b>【概要】</b> 直営健診センター 初回面談実施率 BP:72.5%以上 完了率 BP:89.7%以上									
振り返り	<b>実施状況・時期</b> ①令和4年4月1日～令和4年3月31日健診受診者（生活習慣病・人間ドック）の中から、腹囲該当者・BMI25以上該当者を抽出。そのうち血圧該当者は確定。前回受診歴より、採血結果該当であれば初回指導実施（情報提供レベル者の場合もある。） 特定保健指導面談実施率：73.7% 特定保健指導完了率：88%(最終見込)  <b>成功・推進要因</b> 当日の腹囲・体重をもとに声をかけており、健診途中あるいはすべて終了後に行うことで、予防意識が高い時に指導が受けられるので、受諾率が高い。  <b>課題及び阻害要因</b> 特定保健指導対象者は当日では確定せず、疑い者に面談を行うため、特定保健指導者とイコールにはならない。									
評価	4. 80%以上									
事業目標										

①初回面談実施者数 完了率（動機・積極） BP:89.7%以上

**アウトプット指標**

健診センター 特定保健指導面談実施率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：72.5%/73.7% 【達成度】 101.7%） 健診センター 特定保健指導 初回面談実施率（動機・積極） BP:72.5%以上[-]

健診センター 特定保健指導完了率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：89.7%/88% 【達成度】 98.1%） 健診センター 特定保健指導 完了率（動機・積極） BP:89.7%以上[2023/8見込値 5月現在50%]

**アウトカム指標**

-  
(アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

**9 事業名 保健指導（糖尿病重症化防止活動） 診療所**

健康課題との関連 効果的な保健事業

**分類**

注1)事業分類	計画	3-ア,4-オ,4-カ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-ア, 4-オ, 4-カ		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

**事業の内容**

対象者	計画	対象事業所	母体企業	性別	男女	年齢	18～（上限なし）	対象者分類	基準該当者
	実績	対象事業所	母体企業	性別	男女	年齢	18～（上限なし）	対象者分類	基準該当者

注2)プロセス分類	計画	オ	実施方法	計画	健診の糖有所見者のうち、各地区診療所で定めたターゲットに対して計画した活動を実施率で管理	予算額	10,000千円
	実績	オ		実績	健診の糖有所見者のうち、各地区診療所で定めたターゲットに対して計画した活動を実施率で管理		

注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ	実施体制	計画	各地区診療所で目標設定し、本部でまとめ管理と月報報告を行う	決算額	10,840 千円
--------------	----	-----	------	----	-------------------------------	-----	-----------

	実績	ア,イ	実績	各地区診療所で目標設定し、本部でまとめ管理と月報報告を行う			
実施計画 (令和4年度)	<b>【目的】</b> 従業員の糖尿病の重症化を防止する <b>【概要】</b> 各地区がターゲットとして選んだ対象者に対して健診前より活動を実施し計画実施率の集計値で管理する						
振り返り	<b>実施状況・時期</b>		産業医指示人数 274人 2023/5月末実績 273人/274人				
	<b>成功・推進要因</b>		診療所スタッフが管理することで確実に保健指導に繋げる				
	<b>課題及び阻害要因</b>		各地区でターゲット、指導内容にばらつきがあり効果測定がしづらい。				
評価	4. 80%以上						
<b>事業目標</b>							
産業医指示人数 274人							
<b>アウトプット指標</b> 40歳以上保健指導人数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：274人/273人 【達成度】 99.6%） 産業医指示人数 274人[-]							
<b>アウトカム指標</b> - (アウトカムは設定されていません)							
外部委託先	計画	外部委託しない					
	実績	委託の有無	外部委託しない				

10	事業名	<b>生活習慣病健診</b>							
健康課題との関連	効果的な保健事業								
<b>分類</b>									
注1)事業分類	計画	2,3-イ,3-ウ,4-オ,4-キ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	2, 3-イ, 3-ウ, 4-オ, 4-キ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
<b>事業の内容</b>									
対象者	計画	<b>対象事業所</b> 全て	<b>性別</b> 男女	<b>年齢</b> 18～74	<b>対象者分類</b> 被保険者,被扶養者				
	実績	<b>対象事業所</b> 全て	<b>性別</b> 男女	<b>年齢</b> 18～74	<b>対象者分類</b> 被保険者,被扶養者				

注2)プロセス分類	計画	イ,ウ,ケ	実施方法	計画	①医療機関との直接契約から健診代行業者委託に変更する。(FY18～) ②生活習慣病健診と名称を変え、女性がん検査を無償化する。(FY19～) ③健診未予約の人を早目にフォローする。(健診代行へ移行したことで可能になる) 予約状況を把握できる。 ④日産メディカル 健診の質向上	予算額	319,712千円
	実績	イ,ウ,ケ		実績	①医療機関との直接契約から健診代行業者委託に変更する。(FY18～) ②生活習慣病健診と名称を変え、女性がん検査を無償化する。(FY19～) ③健診未予約の人を早目にフォローする。(健診代行へ移行したことで可能になる) 予約状況を把握できる。 ④日産メディカル 健診の質向上		
注3)ストラクチャー分類	計画	カ,キ	実施体制	計画	①被扶養者の健診実施率は月次報告会で毎月報告を行う	決算額	243,152 千円
	実績	カ,キ		実績	①被扶養者の健診実施率は月次報告会で毎月報告を行う		
実施計画 (令和4年度)	<p>【目的】生活習慣病のリスク測定と、早期発見による重症化防止を図る</p> <p>【概要】</p> <p>①医療機関との直接契約から健診代行業者委託に変更する。(FY18～)</p> <p>②生活習慣病健診と名称を変え、特定健診項目と女性がん検査を無償化する。(FY19～)</p> <p>③健診未予約の人を早目にフォローする(健診代行へ移行したことで可能になる)</p> <p>④日産メディカル 健診の質向上(プロセス指標管理年報の自動化)</p> <p>被扶養者(40歳以上): 健診率 BP: 55%、TH: 45%</p>						
振り返り	<p><b>実施状況・時期</b> 9月末(見込) 健診実施率 48.5%</p> <p>目標未達はコロナ禍の影響が考えられる</p> <p>④年報作成システム整備 100%</p>	<p><b>成功・推進要因</b> 健診実施率は月次報告を行い進捗管理をした。未検診者へのフォローは昨年は1回であったが今年は4回実施した。</p> <p>④受診率向上、効率化を図るため健診の質向上に取り組んだ。次年度も引き続き取り組む。</p>					
	<p><b>課題及び阻害要因</b> 年度末駆け込み受診が多く、駆け込み受診者は保健指導対象者も多い。</p> <p>④コロナ禍からの受診率の回復が人間ドックに比べて弱い。健診の質向上とともに利便性を上げるなど更なる方策を講じたい。</p>						
評価	3. 60%以上						
事業目標							

被扶養者（40歳以上）：健診率 BP：55%、TH：45%  
 がん検診実施率の向上（5大がんの検診率）は目標値を持たないが集計は行う。

**アウトプット指標**

胃がん健診受診率（【平成29年度末の実績値】24%【計画値/実績値】令和4年度：4.7%/4.2% 【達成度】89.4%）②5部位の受診率 FY20実績 ・胃：4.2%（目標値は前年実績とした）[生活習慣病健診 胃がん検診]  
 肺がん健診受診率（【平成29年度末の実績値】27%【計画値/実績値】令和4年度：12.2%/11.1% 【達成度】91.0%）②5部位の受診率 FY20実績 肺：11.1%（目標値は前年実績とした）[生活習慣病健診 肺がん検診]  
 大腸がん検診受診率（【平成29年度末の実績値】48%【計画値/実績値】令和4年度：5.6%/6.1% 【達成度】108.9%）②5部位の受診率 FY20実績 大腸：6.1%（目標値は前年実績とした）[生活習慣病健診 大腸がん検診]  
 乳がん検診受診率（【平成29年度末の実績値】25%【計画値/実績値】令和4年度：24.1%/26.6% 【達成度】110.4%）②5部位の受診率 FY20実績 乳：26.1%（目標値は前年実績とした）[-]  
 子宮がん検診受診率（【平成29年度末の実績値】21%【計画値/実績値】令和4年度：21.2%/22.5% 【達成度】106.1%）②5部位の受診率 FY20実績 子宮：22.5%（目標値は前年実績とした）[-]  
 未受診者フォロー（【平成29年度末の実績値】1回【計画値/実績値】令和4年度：4回/4回 【達成度】100.0%）-[-]  
 データ欠落フォロー（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和4年度：10回/10回 【達成度】100.0%）データ抽出時にエラーチェックを行う[-]  
 日産メディカル健診の質向上（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和4年度：100%/100% 【達成度】100.0%）④日産メディカル 健診の質向上（プロセス指標管理年報の自動化）BP:90%、TH:60%[-]  
 健診受診率（【平成29年度末の実績値】51%【計画値/実績値】令和4年度：55%/46.4% 【達成度】84.4%）被扶養者 BP：55%、TH：45%[9月までの見込み値]

**アウトカム指標**

がん精検受診率（家族）（【平成29年度末の実績値】51%【計画値/実績値】令和4年度：53.6%/39.8% 【達成度】74.3%）家族 BP:53.6% TH:48.6%[4月月報値（4-11月）39/98（人）]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

12事業名	<b>ドック健診</b>								
健康課題との関連	効果的な保健事業								
分類									
注1)事業分類	計画	3-イ,3-ウ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-イ,3-ウ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	<b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 30～74 <b>対象者分類</b> 基準該当者							

	実績	<b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 30～74 <b>対象者分類</b> 基準該当者					
注2)プロセス分類	計画	イ,ウ,エ,オ,ケ	実施方法	計画	①生活習慣病健診と人間ドックを併記して受診案内冊子を対象者へ自宅配布する。HPやメルマガなど啓発活動を行う ②日産メディカル 退職者を含む加入者に格安でドックを提供する	予算額	118,906千円
	実績	イ,ウ,エ,オ,ケ		実績			
注3)ストラクチャー分類	計画	キ	実施体制	計画	①医療機関との直接契約から健診代行業者委託に変更する。(FY18～) ②健保直営の健診センター(日産メディカル)で目標値を設定して健診率向上を目指す	決算額	127,967千円
	実績	キ		実績			
実施計画 (令和4年度)	<b>【目的】</b> 早期発見により重症化防止を図る <b>【概要】</b> ①医療機関との直接契約から健診代行業者委託に変更する。(FY18～) ②日産メディカル 健診満足度を測定する BP:80%, TH:75%						
振り返り	<b>実施状況・時期</b> ①医療機関 3,909人 ②日産メディカル 1,091人 満足度 85.1% <b>成功・推進要因</b> ①健診冊子を自宅配布 ②待ち時間改善 <b>課題及び阻害要因</b> ・費用の負担が大きい(一人2万円以上負担) ・人間ドックの必要性を広く啓発できていない ②ドック休暇など整備が必要(メディカル)						
評価	3. 60%以上						
事業目標							

早期発見により重症化を防止する

**アウトプット指標**

ドック受診者数（【平成29年度末の実績値】5,067人【計画値/実績値】令和4年度：5,010人/5,185人【達成度】103.5%）①受診者数・ドック健診 目標値：FY21実績値 5010人[-]  
 胃がん健診受診率（【平成29年度末の実績値】24%【計画値/実績値】令和4年度：4.7%/16.6%【達成度】353.2%）②5部位の受診率 FY21実績 胃：4.7%[-]  
 肺がん健診受診率（【平成29年度末の実績値】27%【計画値/実績値】令和4年度：12.2%/5.7%【達成度】46.7%）②5部位の受診率 FY21実績 肺：12.2%[-]  
 大腸がん検診受診率（【平成29年度末の実績値】48%【計画値/実績値】令和4年度：6.6%/41.4%【達成度】627.3%）②5部位の受診率 FY21実績 大腸：6.6%[-]  
 乳がん検診受診率（【平成29年度末の実績値】25%【計画値/実績値】令和4年度：24.1%/4.2%【達成度】17.4%）②5部位の受診率 FY21実績 乳：24.1%[-]  
 子宮がん検診受診率（【平成29年度末の実績値】21%【計画値/実績値】令和4年度：21.2%/3.7%【達成度】17.5%）②5部位の受診率 FY21実績 子宮：21.2%[-]  
 日産メディカル 健診満足度（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和4年度：80%/85.1%【達成度】106.4%）④日産メディカル 健診満足度 BP：80%，TH：75%[-]

**アウトカム指標**

がん精検受診率（全体）（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和4年度：47.6%/45.8%【達成度】96.2%）全体 BP:47.6% TH:42.6%[-]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

13	事業名	<b>がん検診（職場）</b>							
健康課題との関連	効果的な保健事業								
分類									
注1)事業分類	計画	3-ウ,4-カ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-ウ,4-カ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所	全て	性別	男女	年齢	40～（上限なし）	対象者分類	被保険者
	実績	対象事業所	全て	性別	男女	年齢	40～（上限なし）	対象者分類	被保険者

注2)プロセス分類	計画	イ,ウ	実施方法	計画	①事業主の定期健康診断で同時に胃がん・大腸がんを行い、一部健診補助を行う。 ②巡回健診でマンモグラフィー、子宮がん検診を職場巡回型で実施する	予算額	36,434千円
	実績	イ,ウ		実績	①事業主の定期健康診断で同時に胃がん・大腸がんを行い、一部健診補助を行う。 ②巡回健診でマンモグラフィー、子宮がん検診を職場巡回型で実施する		
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,キ,コ	実施体制	計画	①事業主から請求書と健診実績リストを受け取り、実施数に応じて費用補助を行う。 ②職場巡回バス健診は日時や手続きなど本部主体で行う。	決算額	31,117千円
	実績	ア,キ,コ		実績	①事業主から請求書と健診実績リストを受け取り、実施数に応じて費用補助を行う。 ②職場巡回バス健診は日時や手続きなど本部主体で行う。		

**実施計画 (令和4年度)** 【概要】 ①事業主の定期健康診断で同時に胃がん・大腸がんを行い、一部健診補助を行う。  
②巡回健診でマンモグラフィー、子宮がん検診を職場巡回型で実施する

**振り返り**

**実施状況・時期** ①事業主：胃がん検診 9143人、大腸がん検診 29812人  
②事業主：乳がん検診 1212人、子宮がん検診 1187人

**成功・推進要因** ①定期健診時にがん検診を行うスキームが出来上がっている  
②職場に巡回型のバスを用いて希望者に健診を行うスキームを毎年調整する

**課題及び阻害要因** ①②ともに、事業主への訴求力が弱いと実施できない。

**評価** 3. 60%以上

**事業目標**

がんの早期発見により重症化を防止する

**アウトプット指標**

計画実施率（【平成29年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和4年度：100%/100% 【達成度】100.0%）①事業主健診の大腸がん・胃がん（ABC検査）の費用補助計画実施率  
②職場巡回婦人科健診の計画実施率[-]

胃がん健診受診率（【平成29年度末の実績値】24%【計画値/実績値】令和4年度：19.0%/22.4% 【達成度】117.9%）②5部位の受診率 FY21実績 胃：19.0%[-]  
大腸がん検診受診率（【平成29年度末の実績値】48%【計画値/実績値】令和4年度：67.0%/73.1% 【達成度】109.1%）②5部位の受診率 FY21実績 大腸：67.0%[-]  
乳がん検診受診率（【平成29年度末の実績値】25%【計画値/実績値】令和4年度：19.6%/12.4% 【達成度】63.3%）②5部位の受診率 FY21実績 乳：19.6%[-]  
子宮がん検診受診率（【平成29年度末の実績値】21%【計画値/実績値】令和4年度：16.4%/12.2% 【達成度】74.4%）②5部位の受診率 FY21実績 子宮：16.4%[-]

**アウトカム指標** がん精検受診率（日産本人）（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和4年度：70%/75.3% 【達成度】107.6%）日産本人 BP:70% TH:60%[-]  
がん精検受診率（関係本人）（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和4年度：33.7%/34.5% 【達成度】102.4%）関係会社本人 BP:33.7% TH:28.7%[-]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

**14 事業名 33歳人間ドックの無料化**

**健康課題との関連** 効果的な保健事業

分類									
注1)事業分類	計画	2,3-イ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	2,3-イ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 33～33 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 33～33 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	イ,ウ	実施方法	計画	33歳の対象者へ人間ドックを無償化し若年層のヘルスリテラシーの向上を狙う ①日産従業員 ②関係会社	予算額	37,724千円		
	実績	イ,ウ		実績	33歳の対象者へ人間ドックを無償化し若年層のヘルスリテラシーの向上を狙う ①日産従業員 ②関係会社				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,ス	実施体制	計画	・事業主からのアプローチを強化する ・啓発活動を強化する ①日産従業員 ②関係会社	決算額	28,100千円		
	実績	ア,ス		実績	・事業主からのアプローチを強化する ・啓発活動を強化する ①日産従業員 ②関係会社				
実施計画 (令和4年度)	<p>【目的】（若年層対策）40歳前に健康リテラシーを向上させ、健康の維持・増進・悪化防止のスキームを作る</p> <p>【概要】 33歳の対象者へ人間ドックを無償化する</p> <p>①日産 母数605人 BP:50% TH:40%</p> <p>②関係会社 母数436人 BP:40% TH:37%</p>								
振り返り	<p><b>実施状況・時期</b> 59.6% = 620/1,041</p> <p>①日産 70.1%</p> <p>②関係会社 45%</p> <p><b>成功・推進要因</b> 事業主の協力体制が整ってきた 啓発活動の強化</p> <p><b>課題及び阻害要因</b> 事業所の協力が不可欠</p>								
評価	5. 100%								
事業目標									

①日産 母数605人 BP:50% TH:40%  
 ②関係会社 母数436人 BP:40% TH:37%

**アウトプット指標** ①33歳ドック受診者率 日産 (【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：50%/70.1% 【達成度】 140.2%) ①日産 母数605人 BP:50% TH:40%[-]  
 ②33歳ドック受診者率 関係会社 (【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：40%/45% 【達成度】 112.5%) ②関係会社 母数436人 BP:40% TH:37%[-]

**アウトカム指標** -  
 (アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

18 事業名 **がん精検受診率**

健康課題との関連 効果的な保健事業

分類

注1)事業分類	計画	3-イ,3-ウ,4-オ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-イ, 3-ウ, 4-オ		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～(上限なし) 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～(上限なし) 対象者分類 基準該当者							

注2)プロセス分類	計画	イ	実施方法	計画	②日産本人 胃・大腸精検者を診療所でフォローし管理する。 ③関連会社 胃・大腸精検者を一部費用補助し要所見者を報告してもらうことでレセプトと突合し管理する。 ④家族 健診機関から結果を入手しレセプトと突合することで管理する。	予算額	4,500千円
	実績			イ	実績		

注3)ストラクチャー分類	計画	イ,キ	実施体制	計画	②③④を分類し担当グループで管理する	決算額	1,593千円
--------------	----	-----	------	----	--------------------	-----	---------

	実績 イ,キ		実績 ②③④を分類し担当グループで管理する	
実施計画 (令和4年度)	<p>【目的】健診後フォロー 精検受診率を追い、未治療者をフォローし治療につなげ重症化を防止する</p> <p>【概要】有所見者の未治療者（医療）を追いアプローチする</p> <p>①全体 精検受診率 BP:45%、TH:35%</p> <p>②日産本人 胃・大腸精検者 BP:70%、TH:60%</p> <p>③関連会社 精検受診率 BP:33.7%、TH:28.7%</p> <p>④家族 5部位がん精検受診率 BP:53.6%、TH:48.6%</p>			
振り返り	<p><b>実施状況・時期</b></p> <p>①全体 45.8%</p> <p>②日産：胃がん・大腸がん 75.3%</p> <p>③関係会社：34.5%</p> <p>④家族：39.8%</p> <p><b>成功・推進要因</b></p> <p>①事業所単位で目標値を決め月次で進捗管理を行いフォロー体制を整えた。</p> <p>②③④事業部で目標値を決め月次で進捗管理を行っている。</p> <p><b>課題及び阻害要因</b></p> <p>②また、対象者本人が医療機関受診に対しコロナ感染を懸念する場合もあり受診までに及ばない。</p> <p>③④事業所によって温度差がある。また、データの提出も医療機関により協力を得られない。</p>			
評価	3. 60%以上			
事業目標				
<p>①全体 精検受診率 BP:45%、TH:35%</p> <p>②日産本人 胃・大腸精検者 BP:70%、TH:60%</p> <p>③関連会社 精検受診率 BP:33.7%、TH:28.7%</p> <p>④家族 5部位がん精検受診率 BP:53.6%、TH:48.6%</p>				
<b>アウトプット指標</b>				
<p>がん精検受診率（全体）（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：45%/45.8% 【達成度】 101.8%）①全体 精検受診率 BP:45%、TH:35%[-]</p> <p>がん精検受診率（日産本人）（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：70%/75.3% 【達成度】 107.6%）②日産本人 胃・大腸精検者 BP:70%、TH:60%[-]</p> <p>がん精検受診率（関連会社本人）（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：33.7%/34.5% 【達成度】 102.4%）③関連会社 精検受診率 BP:33.7%、TH:28.7% [-]</p> <p>がん精検受診率（家族）（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：53.6%/39.8% 【達成度】 74.3%）④家族 5部位がん精検受診率 BP:53.6%、TH:48.6%[-]</p>				
<b>アウトカム指標</b>				
<p>がん重症化防止(患者当たり医療費)（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：876,052円/868,910円 【達成度】 100.8%）令和3年度：876052円[-]</p> <p>がん重症化防止(人数)（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：2,571人/2,637人 【達成度】 97.5%）令和2年度：2571人[-]</p> <p>がん重症化防止(加入者一人当たり受診日数)（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：0.232日/0.234日 【達成度】 99.1%）令和3年度：0.232日[-]</p>				
外部委託先	計画 外部委託しない			
	実績 委託の有無	外部委託しない		

健康課題との関連	効果的な保健事業								
分類									
注1)事業分類	計画	3-エ,4-イ,4-ウ,4-エ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-エ,4-イ,4-ウ,4-エ		実績					
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～(上限なし) 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～(上限なし) 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	イ,ウ,ク,シ	実施方法	計画	①2回/年 口腔検査・歯石除去の費用補助 ②職場出張健診の費用補助 ③スクリーニング調査票を回収し評価書を提供する ④②および③実績者の通院率		予算額	32,450千円	
	実績	イ,ウ,ク,シ		実績	①2回/年 口腔検査・歯石除去の費用補助 ②職場出張健診の費用補助 ③スクリーニング調査票を回収し評価書を提供する ④②および③実績者の通院率				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,キ,コ	実施体制	計画	①無料健診の利用者を増やす ②事業所で健診時に出張歯科検診を行う。 ③事業所で健診時に歯科スクリーニング検査(紙面アンケート調査)を導入して歯科検診へ行動変容を促す ④受診勧奨者へのフォローを行う		決算額	19,184千円	
	実績	ア,キ,コ		実績	①無料健診の利用者を増やす ②事業所で健診時に出張歯科検診を行う。 ③事業所で健診時に歯科スクリーニング検査(紙面アンケート調査)を導入して歯科検診へ行動変容を促す ④受診勧奨者へのフォローを行う				
実施計画 (令和4年度)	<b>【目的】</b> 早期発見、早期治療により重症化を防止し医療費の抑制を図る <b>【概要】</b> ①無料健診の利用者を増やす。 ②事業所で健診時に出張歯科健診を行う ③事業所で健診時に歯科スクリーニング検査を導入して歯科検診へ行動変容を促す ④レセプトでの歯科メンテナンス者把握								

振り返り	<b>実施状況・時期</b>	①無料歯科検診：2003人 ②出張歯科検診：6874人（11事業所） ③スクリーニング検査⇒ハミエルに変更 ④レセプトでの検証
	<b>成功・推進要因</b>	①継続した支援により認知されている ②事業所と連携し定期健診時に実施する ④分析ツールにより分析が可能となった
	<b>課題及び阻害要因</b>	コロナ禍で歯科は診療控えがあった。また、活動も抑制した。 ①地域差がある ②調整に工数を要する ④実績が把握できるようになったことで今後は目標値を置くことができる

評価	4. 80%以上
----	----------

**事業目標**

早期発見・早期治療により重症化を防止し医療費抑制につなげる

**アウトプット指標**

歯科健診実施者数（【平成29年度末の実績値】8,240人【計画値/実績値】令和4年度：8,108人/8,877人 【達成度】109.5%）①と②の合計 歯科検診実施者数 前年実績を目標値とする[-]  
スクリーニング実施者数（【平成29年度末の実績値】4,163人【計画値/実績値】令和4年度：418人/111人 【達成度】26.6%）前年実績を目標値とする 418[-]

**アウトカム指標**

歯科メンテナンス受療率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】令和4年度：39.34%/38.83% 【達成度】98.7%）④歯科健診結果（受診勧奨率）レセプトより算出する KPI目標 FY21実績[-]  
メンテナンス受診日数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】令和4年度：1.9日/1.5日 【達成度】78.9%）加入者一人当たり受診日数 目標値 FY21実績[-]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

20 事業名 **健康作り支援（スポーツジム契約）**

健康課題との関連 効果的な保健事業

**分類**

注1)事業分類	計画	5-イ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	体育奨励	新規・既存区分	既存
	実績	5-イ		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

**事業の内容**

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 基準該当者					
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 基準該当者					
注2)プロセス分類	計画	ア,ス	実施方法	計画	スポーツジムと法人契約を結び利用者の負担軽減を図る	予算額	5,858千円
	実績	ア,ス		実績	スポーツジムと法人契約を結び利用者の負担軽減を図る		
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	法人契約しているスポーツジムから加入者情報（利用状況）を報告してもらいPepポイント付与（インセンティブ）に繋げる	決算額	5,720千円
	実績	ス		実績	法人契約しているスポーツジムから加入者情報（利用状況）を報告してもらいPepポイント付与（インセンティブ）に繋げる		
実施計画 (令和4年度)	<p>【目的】自主的に運動習慣を身に付け健康の維持向上を支援する</p> <p>【概要】ジム契約者にはPepポイントを付与して利用促進を図る</p>						
振り返り	<p><b>実施状況・時期</b> ジム利用者には利用促進のためインセンティブを付与する。</p>						
	<p><b>成功・推進要因</b> 利用者リストを入手し、PepUpポイントを付与する。</p>						
	<p><b>課題及び阻害要因</b> 参加率の低迷（コロナ禍の課題あり）</p>						
評価	3. 60%以上						
<p><b>事業目標</b></p> <p>自主的に運動習慣を身に付け健康の維持向上を支援する</p>							
<p><b>アウトプット指標</b></p> <p>ジム利用者数（延べ人数）（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：3,488人/3,817人 【達成度】 109.4%）前年比較 前年はコロナ禍での利用者減のため目標は前年以上とする。 [-]</p>							
<p><b>アウトカム指標</b></p> <p>健康年齢わかさ率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：71.5%/66.3% 【達成度】 92.7%）FY21 71.5% FY22目標値 BP:71.5%、TH:68.5%[-]</p> <p>運動習慣ありの割合（本人）（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：25.5%/26.5% 【達成度】 103.9%）FY21 25.5%[-]</p> <p>運動習慣ありの割合（家族）（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：28.7%/29.6% 【達成度】 103.1%）FY21 28.7%[-]</p>							
外部委託先	計画	外部委託しない					
	実績	委託の有無	外部委託しない				
21 事業名	<b>オンラインジム</b>						
健康課題との関連	質の高いサービス						
分類							

注1)事業分類	計画	5-イ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	体育奨励	新規・既存区分	新規
	実績	5-イ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	<b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 18～（上限なし） <b>対象者分類</b> 加入者全員							
	実績	<b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 18～（上限なし） <b>対象者分類</b> 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	エ	実施方法	計画	コロナ禍でジム利用者が減っているため、オンラインジムを開催する	予算額	2,000千円		
	実績	エ		実績	自宅でも利用できるオンラインジムを開催する				
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	Web上のジム（オンラインジム）を計画する。専門業者と連携して効果的なイベントを開催する	決算額	988千円		
	実績	ス		実績	Web上のジム（オンラインジム）を計画する。専門業者と連携して効果的なイベントを開催する				
実施計画 (令和4年度)	<b>【目的】</b> 自主的に運動習慣を身に付け健康の維持向上を支援する <b>【概要】</b> Web上のジム（オンラインジム）を計画する。専門業者と連携して効果的なイベントを開催する								
振り返り	<b>実施状況・時期</b> オンラインジムを計画通り実施した。								
	<b>成功・推進要因</b> PepUpで告知したことでひとり一人にアプローチできた。								
	<b>課題及び阻害要因</b> 参加率の向上								
評価	5. 100%								
事業目標									
オンラインジムを計画し、自宅でも運動ができる環境を作る。									
<b>アウトプット指標</b>									
実施者数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：1,111人/340人 【達成度】 30.6%） 実施者数（前年実績 延べ人数） 1111人[実績は登録者数（延べ人数ではない）]									
<b>アウトカム指標</b> - (アウトカムは設定されていません)									
外部委託先	計画	外部委託しない							
	実績	委託の有無	外部委託しない						

22	事業名	シニア体力測定							
健康課題との関連	効果的な保健事業								
分類									
注1)事業分類	計画	1-工,2,5-イ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	1-工, 2, 5-イ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て		性別	男女	年齢	50～（上限なし）	対象者分類	被保険者,基準該当者
	実績	対象事業所 全て		性別	男女	年齢	50～（上限なし）	対象者分類	被保険者,基準該当者
注2)プロセス分類	計画	オ,キ,ケ,シ	実施方法	計画	3種の体力測定を行い、測定前アンケートと測定値との差を認識することで生活習慣改善へとつなげる		予算額	1,000千円	
	実績	オ,キ,ケ,シ		実績	3種の体力測定を行い、測定前アンケートと測定値との差を認識することで生活習慣改善へとつなげる				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア	実施体制	計画	事業主の協力を得て50歳以上の従業員に体力測定を行う。		決算額	1,012 千円	
	実績	ア		実績	事業主の協力を得て50歳以上の従業員に体力測定を行う。				
実施計画 (令和4年度)	<p>【目的】 年齢による体力の衰えを体感し生活習慣に役立てる</p> <p>【概要】 50歳以上の従業員に2種の体力測定を行い、自分が意識している身体能力と測定値の差を認識することで生活習慣の改善に役立てる</p>								
振り返り	<p><b>実施状況・時期</b> 3事業所で実施 374名（NFS,NS,ハイリマレリJ）</p> <p><b>成功・推進要因</b> 事業所との連携により実施できた</p> <p><b>課題及び阻害要因</b> 定期健診時の場所の確保と時間の確保 定期健診時以外での時間の確保 コロナ禍で測定事業は難しく申込が少なかった。</p>								
評価	1. 39%以下								
事業目標	職場での転倒リスクの回避や日々の生活習慣改善（運動習慣）への行動変容につなげる								
<b>アウトプット指標</b>	<p>参加事業所数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：2事業所/3事業所 【達成度】 150.0%） -[-]</p> <p>参加者数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：1,000人/374人 【達成度】 37.4%） @1000円で予算値から推計[-]</p>								
<b>アウトカム指標</b>	- (アウトカムは設定されていません)								

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

23 事業名 **電話相談（健康相談&メンタル相談）**

健康課題との関連 質の高いサービス

分類

注1)事業分類	計画	5-工,5-ク,6	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	5-工,5-ク,6		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者 計画 **対象事業所** 全て **性別** 男女 **年齢** 0～（上限なし） **対象者分類** 加入者全員

実績 **対象事業所** 全て **性別** 男女 **年齢** 0～（上限なし） **対象者分類** 加入者全員

注2)プロセス分類	計画	エ,ス	実施方法	計画	国内や海外勤務者の医療相談やメンタル疾患の患者本人・家族・その他関係者等の不安解消と疾病の重症化防止、また育児支援を目的とした窓口を24Hフリーダイヤルで受け付ける	予算額	4,950千円
	実績	エ,ス		実績	国内や海外勤務者の医療相談やメンタル疾患の患者本人・家族・その他関係者等の不安解消と疾病の重症化防止、また育児支援を目的とした窓口を24Hフリーダイヤルで受け付ける		

注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	専門業者へ委託	決算額	4,787千円
	実績	ス		実績	専門業者へ委託		

実施計画 (令和4年度) **【目的】** 緊急時や困り事の相談を行うことにより不安解消を図る  
**【概要】** 国内や海外勤務者の医療相談やメンタル疾患の患者本人・家族・その他関係者等の不安解消と疾病の重症化防止、また育児支援を目的とした窓口を24Hフリーダイヤルで受け付ける

振り返り **実施状況・時期** 健康相談：663件（うちWeb2件）  
 健康相談は増加傾向  
**成功・推進要因** 電話相談利用は被保険者の利用が多い  
**課題及び阻害要因** Webよりも直接電話窓口のニーズが高い

評価 3. 60%以上

事業目標

緊急時や困りごとの相談を行うことにより不安解消を図り、医療費の健全化につなげる

**アウトプット指標** 利用件数（【平成29年度末の実績値】701件【計画値/実績値】令和4年度：403件/663件 【達成度】164.5%）利用件数 前年実績を目標とする[-]

**アウトカム指標** -  
(アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

25	事業名	<b>育児支援</b>							
健康課題との関連		質の高いサービス							
分類									
注1)事業分類	計画	5-ク	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	5-ク		実績	1. 健保組合				
共同事業		共同事業ではない							
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 女性 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 女性 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	初産者へ育児書を毎月送付（1歳になるまで）		予算額	2,100千円	
	実績	ス		実績	初産者へ育児書を毎月送付（1歳になるまで）				
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	専門業者へ委託		決算額	1,946千円	
	実績	ス		実績	専門業者へ委託				
実施計画 (令和4年度)		【目的】初産者への子育て支援 【概要】育児書を送付することで子育ての情報提供と健保との繋がりを継続させる							
振り返り		<b>実施状況・時期</b> 年間送付者数：641人 <b>成功・推進要因</b> FY19業者選定を行い委託先を変更し紙面リニューアルを行った。 <b>課題及び阻害要因</b> 利用者満足度が測定できていない							

評価	4. 80%以上		
事業目標	毎月送付／年（対象者抽出）		
アウトプット指標	実施人数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：618人/641人 【達成度】 103.7%）毎月、データを抽出し対象者を送る[-]		
アウトカム指標	- (アウトカムは設定されていません)		
外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

26 事業名	講演会やセミナー開催								
健康課題との関連	効果的な保健事業								
分類									
注1)事業分類	計画	2,5-ア,5-イ,5-ウ,5-エ,5-オ,5-キ,5-ク	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定保健指導事業	新規・既存区分	既存
	実績	2, 5-ア, 5-イ, 5-ウ, 5-エ, 5-オ, 5-キ, 5-ク		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	ケ	実施方法	計画	直営健診センターで年間計画（9回／年）し、活動のPRや参加者の分析などを行う	予算額	1,310千円		
	実績	ケ		実績	直営健診センターで年間計画（9回／年）し、活動のPRや参加者の分析などを行う				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,ウ,コ	実施体制	計画	直営健診センターで計画する	決算額	0千円		
	実績	ア,ウ,コ		実績	直営健診センターで計画する				
実施計画 (令和4年度)	<p>【目的】 情報提供を通じ話題作りや生活習慣改善へ誘導する。ストレス軽減やメンタル予防にも効果を求める。</p> <p>【概要】 直営健診施設（日産メディカル）にて健康づくりセミナーを年間計画に基づいて開催する。</p>								

振り返り	<b>実施状況・時期</b>	コロナ禍で未実施
	<b>成功・推進要因</b>	コロナ禍で未実施
	<b>課題及び阻害要因</b>	コロナ禍で未実施

評価 1. 39%以下

**事業目標**

FY19より月報報告は行わないが年間計画を立て実施する

**アウトプット指標** 計画実施率（【平成29年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和4年度：90%/0% 【達成度】0.0%）計画実施率：90%以上[-]

**アウトカム指標** -  
(アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

27 事業名 **ジェネリックの利用促進**

健康課題との関連 医療費適正化

**分類**

注1)事業分類	計画	7-ア,7-イ,7-ウ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	7-ア,7-イ,7-ウ		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

**事業の内容**

対象者	計画	<b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 0～（上限なし） <b>対象者分類</b> 基準該当者
	実績	<b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 0～（上限なし） <b>対象者分類</b> 基準該当者

注2)プロセス分類	計画	キ,ス	実施方法	計画	①差額通知年2回 ②高齢受給者証発行時に希望シールを同封 ③新規加入者へ健保ガイド ④新規加入者の被保険者証に希望シールを貼付	予算額	2,800千円
	実績	キ,ス		実績	①差額通知年2回 ②高齢受給者証発行時に希望シールを同封 ③新規加入者へ健保ガイド ④新規加入者の被保険者証に希望シールを貼付		

注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	外注化によりシステムチェックに発送する	決算額	1,909 千円
	実績	ス		実績	外注化によりシステムチェックに発送する		

実施計画 (令和4年度)	<p><b>【目的】</b> 調剤費の抑制を行い医療費の適正化を図る</p> <p><b>【概要】</b> ①差額通知 年2回                  ②高齢受給者証発行時に希望シールを同封                  ③新規加入者へ健保ガイド                  ④新規加入者の被保険者証に希望シールを貼付</p>
-----------------	---

振り返り	<p><b>実施状況・時期</b> ①差額通知2回送付（差額が500円以上の方へ送付）                  1回目：4,529件（8月送付）、2回目：4,533件（2月送付）                  ②啓発シール作成・送付                  ③健保ガイド発行</p>
	<p><b>成功・推進要因</b> 対象者の抽出にあたり、前回の対象者と重複しないように選定。</p>
	<p><b>課題及び阻害要因</b> ジェネリックの割合は高止まりしており、利用促進通知の効果も限定的と考えられる。</p>

評価	5. 100%
----	---------

**事業目標**

4回/年

<b>アウトプット指標</b>	ジェネリック利用率（【平成29年度末の実績値】73%【計画値/実績値】令和4年度：81.4%/82.41% 【達成度】101.2%）ジェネリック利用率：前年以上を目標とする[-]
<b>アウトカム指標</b>	- (アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

**28 事業名 安心して治療に専念できる環境づくり（付加給付の充実）**

健康課題との関連 質の高いサービス

**分類**

注1)事業分類	計画	8	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	その他	新規・既存区分	既存
	実績	8		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

**事業の内容**

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 基準該当者				
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 基準該当者				
注2)プロセス分類	計画	実施方法	計画	①付加給付の充実 ②休業補償の補てん ③休業期間の延長	予算額	0千円
	実績		実績			
注3)ストラクチャー分類	計画	実施体制	計画	-	決算額	0千円
	実績		実績			
実施計画 (令和4年度)	<p>【目的】安心して治療に専念できる環境づくり</p> <p>【概要】①付加給付金の充実 ②休業補償の補てん ③休業補償期間の延長</p>					
振り返り	<p><b>実施状況・時期</b> ①②③ともに実施している。</p> <p><b>成功・推進要因</b> ①②③ともに仕組みづくりができています</p> <p><b>課題及び阻害要因</b> なし</p>					
評価	5. 100%					
<b>事業目標</b>						
健全な運営の構築						
<ul style="list-style-type: none"> <li>①付加給付金の充実</li> <li>②休業補償の補てん</li> <li>③休業補償期間の延長</li> </ul>						
<p><b>アウトプット指標</b> 付加給付金支給率（【平成29年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和4年度：100%/100% 【達成度】100.0%）付加給付金支給率 ①～③の継続[-]</p>						
<p><b>アウトカム指標</b> - (アウトカムは設定されていません)</p>						
外部委託先	計画	外部委託しない				
	実績	委託の有無	外部委託しない			

健康課題との関連	質の高いサービス								
分類									
注1)事業分類	計画	8	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	(予算措置なし)	新規・既存区分	既存
	実績	8		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～(上限なし) 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～(上限なし) 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	①日産診療所利用者満足度調査 ②日産メディカル(健診センター)利用者満足度調査 ③保養所利用者満足度調査	予算額	0千円		
	実績	ス		実績	①日産診療所利用者満足度調査 ②日産メディカル(健診センター)利用者満足度調査 ③保養所利用者満足度調査				
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	①日産診療所 ②日産メディカル ③保養所	決算額	0千円		
	実績	ス		実績	①日産診療所 ②日産メディカル ③保養所				
実施計画(令和4年度)	<p>目的] 3つの事業における満足度を調査しそれぞれの目標と合計満足度を管理する</p> <p>【概要】満足度5段階評価の5点のみ評価(5非常に満足)</p> <p>全体満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①日産診療所利用者満足度</li> <li>②日産メディカル(健診センター)満足度</li> <li>③保養所利用者満足度</li> </ul>								
振り返り	<b>実施状況・時期</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>①日産診療所利用者満足度：87%</li> <li>②日産メディカル総合満足度：90.0%</li> <li>③保養所満足度：92%</li> <li>全体満足度 91%</li> </ul>						
	<b>成功・推進要因</b>		①②③ともに月次報告を行い進捗管理を行っている。満足度が下がった月の原因を追究し対策を立てて取り組んでいる。						
	<b>課題及び阻害要因</b>		回収率が低いと結果に偏りがでる場合がある						
評価	4. 80%以上								
事業目標									

全体満足度 BP:85%、TH:80%  
 ①診療所 BP:85%、TH:80%  
 ②メディカル BP:90%、TH:85%  
 ③保養所 BP:90%、TH:87%

**アウトプット指標**

お客様総合満足度（5点満点の率）（【平成29年度末の実績値】82%【計画値/実績値】令和4年度：85%/91% 【達成度】107.1%）お客様総合満足度（5点満点の率）：BP:85%、TH:80%  
 [-]  
 診療所利用者満足度（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和4年度：85%/87% 【達成度】102.4%）①診療所 BP:85%、TH:80%[-]  
 日産メディカル利用者総合満足度（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和4年度：90%/90% 【達成度】100.0%）②メディカル BP:90%、TH:85%[-]  
 日産メディカル健診満足度（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和4年度：80%/82.2% 【達成度】102.8%）②メディカル BP:80%、TH:75%[-]  
 保養荘お客様満足度（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和4年度：90%/92% 【達成度】102.2%）③保養所 BP:90%、TH:87%[-]

**アウトカム指標**

-  
 (アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

30	事業名	<b>データヘルス計画推進システムの構築</b>							
健康課題との関連	効果的な保健事業								
分類									
注1)事業分類	計画	1-工	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	1-工		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 その他							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 その他							
注2)プロセス分類	計画	イ,ウ,キ,ク	実施方法	計画	①月報、けんこう宅配便（健診結果出力）、ジェネリック通知、事業所用けんこうレポート、組合会資料などで活用する。	予算額	3,200千円		
	実績	イ,ウ,キ,ク		実績	①月報、けんこう宅配便（健診結果出力）、ジェネリック通知、事業所用けんこうレポート、組合会資料などで活用する。				

注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	必要な人が利用できる環境を整える	決算額	3,115 千円
	実績	ス		実績	必要な人が利用できる環境を整える		

**実施計画 (令和4年度)**  
**【目的】** 効果的な保健事業を行うため、保有データを有効活用する分析システムを導入する  
**【概要】** レセプトと健診データ、適用情報など工数をかけずに分析を行う活用率／100%

**振り返り**

**実施状況・時期** 月報、けんこう宅配便（健康年齢）、ジェネリック通知、事業所用けんこうレポート、組合会資料などで活用する。

**成功・推進要因** レセプト・健診データ、適用情報など工数をかけずに分析を行うことが可能。

**課題及び阻害要因** 基幹システムとの整合性が課題  
利用者権限を設けて広く波及させたい

**評価** 4. 80%以上

**事業目標**

- ①活用率／100%
- ②効果的な分析

**アウトプット指標**  
 活用率（【平成29年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和4年度：100%/100% 【達成度】100.0%）月報、けんこう宅配便（健診結果出力）、ジェネリック通知、事業所用けんこうレポート、組合会資料など[-]

**アウトカム指標** -  
 (アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

**31 事業名 福利厚生（直営保養所・外部リゾート施設契約）**

**健康課題との関連** 質の高いサービス

**分類**

注1)事業分類	計画	8	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	直営保養所	新規・既存区分	既存
	実績	8		実績	1. 健保組合				

**共同事業** 共同事業ではない

**事業の内容**

対象者	計画	<b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 0～（上限なし） <b>対象者分類</b> 加入者全員,任意継続者,その他				
	実績	<b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 0～（上限なし） <b>対象者分類</b> 加入者全員,任意継続者,その他				
注2)プロセス分類	計画	実施方法	計画	①直営保養所 3カ所（直営と委託運営） ②法人契約施設 2社 ③その他契約施設（宿泊施設やレジャー施設など法人契約 40カ所）	予算額	0千円
	実績		実績	①直営保養所 3カ所（直営と委託運営） ②法人契約施設 2社 ③その他契約施設（宿泊施設やレジャー施設など法人契約 40カ所）		
注3)ストラクチャー分類	計画	実施体制	計画	①②専任の部門があり管理している	決算額	0千円
	実績		実績	①②専任の部門があり管理している		
実施計画 (令和4年度)	<b>【目的】</b> 安価に利用可能な施設を保有することで、従業員および家族とOBにも心のリフレッシュを提供する <b>【概要】</b> ①直営保養所 3施設 ②契約施設 法人契約 2社 ③そのほか宿泊施設やレジャー施設など法人個別契約40カ所以上					
振り返り	<b>実施状況・時期</b> ①②③は計画どおり実施できている。 直営の利用客は19年の7割  <b>成功・推進要因</b> ①は満足度調査および稼働率を毎月管理しており、委託先にも結果のフィードバックと改善策を都度もとめることで、福利厚生としての役割を常に意識し管理している。 ②契約を拡大したことで利用枠が拡大し多くの方の利用が可能になった。またキャンペーンなどの提案を促し集客に努めている。  <b>課題及び阻害要因</b> コロナ禍で稼働率制限など行った影響で収支改善ができていないが21年度より利用客は2倍に増え改善しつつある。					
評価	3. 60%以上					
<b>事業目標</b>						
安価に利用可能な施設を保有することで、従業員および家族とOBに心のリフレッシュを提供する。 ①は事業所の研修や保健事業の施設提供などでも利用可能						
<b>アウトプット指標</b>						
利用率（【平成29年度末の実績値】75%【計画値/実績値】令和4年度：50%/72%【達成度】144.0%）①直営保養所の利用者数 19年比較 16017（人）[11505人 19年比較 11505/16017（人）] 利用率（【平成29年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和4年度：100%/117%【達成度】117.0%）②契約施設（法人契約）リゾートトラスト 利用者数 19年度比較 5878（人）[6851人 19年比較 6851/5878（人）] 利用率（【平成29年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和4年度：100%/71%【達成度】71.0%）②契約施設（法人契約）泉郷 利用者数 19年度比較 3245（人）[2316人 19年比較 2316/3245（人）]						
<b>アウトカム指標</b>						
-						
(アウトカムは設定されていません)						

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

32	事業名	健康相談（クリンタル）							
健康課題との関連	質の高いサービス								
分類									
注1)事業分類	計画	4-カ,5-エ,6	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	4-カ, 5-エ, 6		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	エ	実施方法	計画	アプリとウェブサイトで利用できる「看護師との健康相談チャット」および「医師紹介サービス」	予算額	7,600千円		
	実績	エ		実績	アプリとウェブサイトで利用できる「看護師との健康相談チャット」および「医師紹介サービス」				
注3)ストラクチャー分類	計画	ウ,キ	実施体制	計画	けんぽホームページからまたはPepUpサイトから参加可能	決算額	7,429 千円		
	実績	ウ,キ		実績	けんぽホームページからまたはPepUpサイトから参加可能				
実施計画 (令和4年度)	アプリとウェブサイトで利用できる「看護師との健康相談チャット」および「医師紹介サービス」 FY20より継続								
振り返り	実施状況・時期		チャット相談件数 1409件 医師紹介利用者件数 33件						
	成功・推進要因		Web（一部IT）を活用することにより24Hいつでも相談可能な利便性がある。（看護師チャット+チャットBot）						
	課題及び阻害要因		健診案内にチラシを同封するなどPRを実施						
評価	2. 40%以上								
事業目標									

利用件数 前年以上

**アウトプット指標** 利用件数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：1,242件/1,409件 【達成度】 113.4%） FY21利用件数 1242件 医師紹介件数26件[医師紹介件数 33件]

**アウトカム指標** -  
(アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

33 事業名 **■ポリファーマシー対策**

健康課題との関連 効果的な保健事業

分類

注1)事業分類	計画	4-ク	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	新規
	実績	4-ク		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者	計画	<b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 0～（上限なし） <b>対象者分類</b> 基準該当者			
	実績	<b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 0～（上限なし） <b>対象者分類</b> 基準該当者			

注2)プロセス分類	計画	ク	実施方法	計画	対象者を抽出し注意喚起の案内を自宅配布する	予算額	14,000千円
	実績	ク		実績	対象者を抽出し注意喚起の案内を自宅配布する		

注3)ストラクチャー分類	計画	ウ	実施体制	計画	専門事業者との連携により対象者を抽出する	決算額	5,414 千円
	実績	ウ		実績	専門事業者との連携により対象者を抽出する		

実施計画 (令和4年度) 対象者を抽出し注意喚起の案内を自宅配布する  
FY21トライアルを踏まえて対象者を前期高齢者から全体へと拡大し年1回以上実施

振り返り	<b>実施状況・時期</b> 薬剤による副作用や健康被害の可能性がある利用者を検出し課題の大きいもの順に並べて対象者を選定した。昨年前期高齢者でトライアル実施したが、FY22から対象者を拡大し全年齢を対象に「おくすり通信簿」（注意喚起案内と電話勧奨）を発行した。
	<b>成功・推進要因</b> トライアルを踏まえて無関心層にリマインド通知を発行したり電話番号未提出者に対してフォロー案内などを自宅郵送した
	<b>課題及び阻害要因</b> 全期間対象ではないので、今後は通院時期をずらした活動を行い、全期間を通じて発行できるスキームを構築したい。
評価	4. 80%以上

**事業目標**

**計画実施率**

<b>アウトプット指標</b>	計画実施率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：100%/100% 【達成度】 100.0%） FY22対象者を拡大し1回以上実施 1回→100%[400名に案内通知送付 ①122名：電話勧奨対応 ②55名：架電（留守電対応） ③217名：反応なし ④6名：事業への断りを連絡してくれた方 ②と③はフォロー案内発送]
<b>アウトカム指標</b>	医療費低減効果（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：2,370,000円/13,000,000円 【達成度】 548.5%） 事業前と事業後で効果検証（医療費低減費）する[FY21の事業評価 計画値はコスト：3か月で1300万円の削減がみられた]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

**34 事業名 重症化予防（入院・再発の未然防止）**

健康課題との関連 効果的な保健事業

**分類**

注1)事業分類	計画	4-力	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	4-力		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

**事業の内容**

対象者	計画	<b>対象事業所</b> 全て	<b>性別</b> 男女	<b>年齢</b> 40～（上限なし）	<b>対象者分類</b> 基準該当者
	実績	<b>対象事業所</b> 全て	<b>性別</b> 男女	<b>年齢</b> 40～（上限なし）	<b>対象者分類</b> 基準該当者

注2)プロセス分類	計画	イ,キ,ク,ケ	実施方法	計画	定めた基準該当者を抽出しかかりつけ医の承諾を得て生活習慣改善指導を行い、リスクの改善を測定する	予算額	18,000千円
	実績	イ,キ,ク,ケ		実績	定めた基準該当者を抽出しかかりつけ医の承諾を得て生活習慣改善指導を行い、リスクの改善を測定する		
注3)ストラクチャー分類	計画	ア	実施体制	計画	対象者抽出は内製で行い、事業所の協力を得て対象者へアプローチし、活動受諾者は外注業者へ連絡して、専門職による保健指導および主治医との連携を経て生活習慣改善を促す。	決算額	10,269千円
	実績	ア		実績	対象者抽出は内製で行い、事業所の協力を得て対象者へアプローチし、活動受諾者は外注業者へ連絡して、専門職による保健指導および主治医との連携を経て生活習慣改善を促す。		

**実施計画 (令和4年度)**  
 FY21の健診結果で対象者抽出を行い、事業所と連携して活動参加の連絡を行う。通院者で既往歴のあるもの（再発防止）やハイリスク者（重症化防止）を抽出する。保健指導は外注業者へ委託する。活動後の数値変化や通院状況等継続して追っていく。

**振り返り**

**実施状況・時期**  
 案内発送：9月 今回で3回目の実施となり対象者が重複したことから参加率が伸び悩んだ。事業所を巻き込みフォローしたことで参加率を大きく伸ばした。次年度も継続して実施する。

**成功・推進要因**  
 当初の締め切りでは目標値を大きく下回ったが、締め切りを伸ばし、ウェアラブルデバイスの付与など対策を講じフォローを強化したことで参加率を大きく伸ばした。一昨年の効果検証も行い、今後の対象者の選定に役立てていく。

**課題及び阻害要因** 年々対象者が重複してくることで参加率の低下が危惧される。

**評価** 5. 100%

**事業目標**

参加率 BP:12%、TH：10% 保健指導のスキームは委託業者が行うが、案内文章や参加方法など知恵を出して参加率向上をめざす。また、対象者抽出は内製で行い費用低減を図る

**アウトプット指標** 参加率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：12%/12% 【達成度】 100.0%）参加率を目標にして目標未達の場合は再アプローチを行う。[-]

**アウトカム指標** -  
 (アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

**36 事業名 若年層の健康増進活動**

**健康課題との関連** 効果的な保健事業

**分類**

注1)事業分類	計画	5-ア	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	新規
---------	----	-----	------	----	---------	------	------	---------	----

	実績	5-ア		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～39 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～39 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	エ	実施方法	計画	eラーニングを作成し若年層に健康教育を行う。各地毎に行っていた保健指導と統一プログラム化し、全地区共通の内容で若年層に向けた健康増進活動を実施する。			予算額	15,000千円
	実績	エ		実績	eラーニングを作成し若年層に健康教育を行う。各地毎に行っていた保健指導と統一プログラム化し、全地区共通の内容で若年層に向けた健康増進活動を実施する。				
注3)ストラクチャー分類	計画	シ	実施体制	計画	日産診療所のスタッフ（専門職）がプロジェクトチームを作り、40歳以下の若年層向け、健康情報のeラーニングを作成する。社内イントラのeラーニングシステムにUPし、大規模教育を実施する。eラーニングで対応できない対象者に対しても同様の資料を用いて教育を実施する。			決算額	8,328千円
	実績	シ		実績	日産診療所のスタッフ（専門職）がプロジェクトチームを作り、40歳以下の若年層向け、健康情報のeラーニングを作成する。社内イントラのeラーニングシステムにUPし、大規模教育を実施する。eラーニングで対応できない対象者に対しても同様の資料を用いて教育を実施する。				
実施計画 (令和4年度)	日産診療所のスタッフ（専門職）がプロジェクトチームを作り、健康情報のeラーニングを作成する。40歳以下の若年層のヘルスリテラシーの向上を狙い社内イントラのeラーニングシステムにUPし、eラーニングを実施。eラーニング対応できない対象者に対しても職場でのDVD等による教育を実施した。								
振り返り	実施状況・時期		母体企業のeラーニングシステムを用いて実施を行い、eラーニング対応できない人には集合教育を実施。リテラシーの測定も行った。						
	成功・推進要因		社内イントラの利用ができない方へは集合教育を実施したことで広く教育することができた。またリテラシーの測定を行うことで今後課題にもつながられる。						
	課題及び阻害要因		単年活動ではなく活動途中のため課題の明確化までには及んでいないが、集合教育の際は生産負荷によって実施ができないことも想定される。						
評価	4. 80%以上								
事業目標									
計画実施率	プロジェクトチームによる教育資料作成とフォロー方策の作成から社内イントラUPし教育実施までを目標とする。 BP:95%、TH:90%								
アウトプット指標									
計画実施率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：95%/98.6% 【達成度】 103.8%）プロジェクトチームによる教育資料作成とフォロー方策の作成から社内イントラUPし教育実施までを目標とする。 [-]									
アウトカム指標									
- (アウトカムは設定されていません)									
外部委託先	計画	外部委託しない							
	実績	委託の有無	外部委託しない						

38	事業名	<b>データの有効活用</b>							
健康課題との関連	効果的な保健事業								
分類									
注1)事業分類	計画	8	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	新規
	実績	8		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	重症化予防の対象者選定や効果検証等で専門的な分析が必要な時に活用する	予算額	1,182千円		
	実績	ス		実績	重症化予防の対象者選定や効果検証等で専門的な分析が必要な時に活用する				
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	必要な時点で体制を整え検討する	決算額	0千円		
	実績	ス		実績	必要な時点で体制を整え検討する				
実施計画 (令和4年度)	保健事業に関わる、データを活用した分析の依頼								
振り返り	<b>実施状況・時期</b>		実施せず 分析依頼する事業の展開中だがFY22では支払実績まで至らなかった（ロコモ分析外注費）						
	<b>成功・推進要因</b>		ロコモ分析以外のデータに関する分析は健助を用いて内製で行った						
	<b>課題及び阻害要因</b>		なし						
評価	1. 39%以下								
事業目標									
より効果的な保健事業を行うためのデータ分析を行う									
<b>アウトプット指標</b> -									
<b>アウトカム指標</b> -									
外部委託先	計画	外部委託しない							

	実績	委託の有無	外部委託しない
--	----	-------	---------

39 事業名 ■セルフメディケーションの推進

健康課題との関連 医療費適正化

分類

注1)事業分類	計画	4-ク	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	新規
	実績	4-ク		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							

注2)プロセス分類	計画	キ,ケ	実施方法	計画	セルフメディケーションを推進するため家庭用常備薬の購入サイト「あなたの薬箱」を立ち上げ加入者に周知・広報する。	予算額	3,500千円
	実績	キ,ケ		実績	セルフメディケーションを推進するため家庭用常備薬の購入サイト「あなたの薬箱」を立ち上げ加入者に周知・広報する		

注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	OTC医薬品にスイッチできる対象者を抽出し個別通知を発送	決算額	3,587千円
	実績	ス		実績	OTC医薬品にスイッチできる対象者を抽出し個別通知を発送		

実施計画 (令和4年度) 家庭用常備薬の購入サイト「あなたの薬箱」を立ち上げ加入者に周知する。

振り返り  
**実施状況・時期** 9月末までにサイトを立ち上げ12月までにHPや事業所メールで周知を図った。1月にはOCT医薬品いスイッチ可能な者を抽出し個別通知書を送付した。  
**成功・推進要因** 専門業者と連携し、スケジュールを立ててサイトの立ち上げおよび加入者への周知に努めた。  
**課題及び阻害要因** 更なる周知により登録者の増加を図りセルフメディケーションへの推進を図る。

評価 5. 100%

事業目標

計画実施率100%

**アウトプット指標**

計画実施率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和4年度：100%/100% 【達成度】 100.0%）セルフメディケーションの推進（家庭用常備薬購入サイトの立ち上げ） [-]

**アウトカム指標**

(アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	外部委託しない
	実績	委託の有無 外部委託しない

- 注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業
- 注2) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用（情報作成又は情報提供でのICT活用など）  
 オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など）  
 ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他
- 注3) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築（産業医・産業保健師を除く） エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築  
 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築 ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） サ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理）  
 シ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） ス. その他